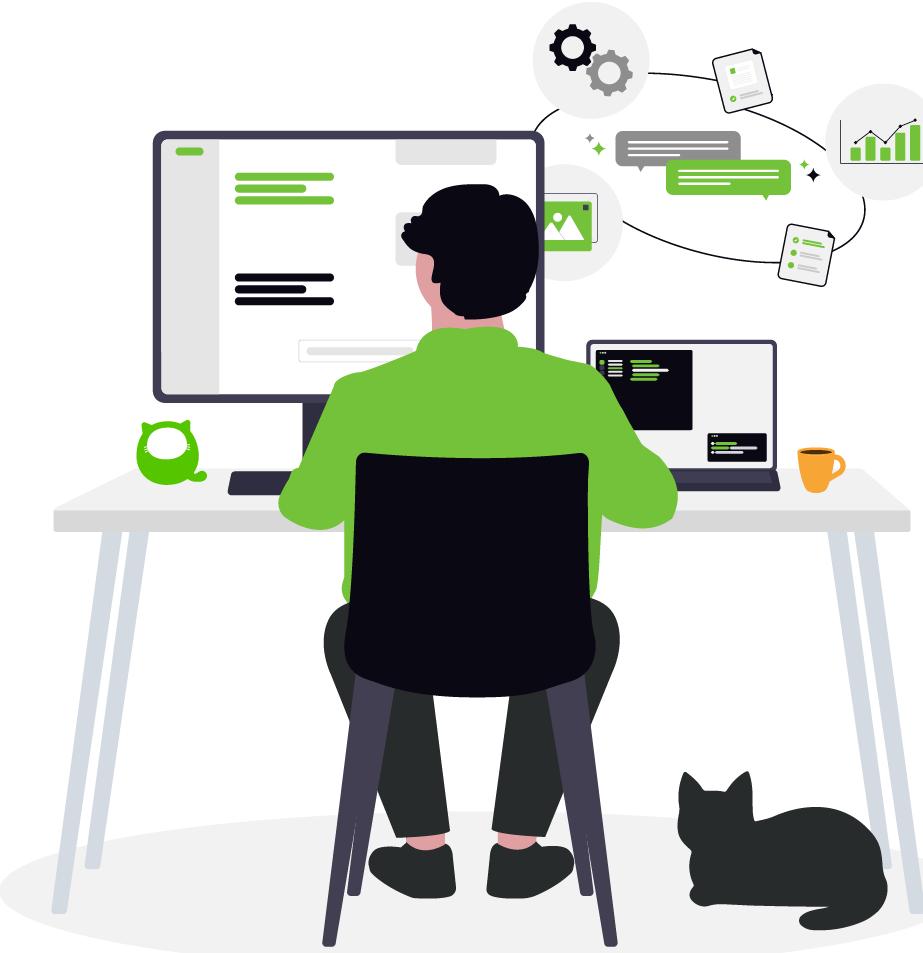


Qiita presents

エンジニア白書 2026

Engineer White Paper 2026
国内エンジニアの動向把握



はじめに

国内エンジニアの動向把握を目的に、Qiitaユーザー約2,300名を対象にアンケート調査を実施しました。エンジニアに人気の開発言語や普段使用している技術をはじめ、働き方、転職時に重要視する項目など、エンジニアにまつわるトピックスを様々な角度から調査しました。
エンジニア業界の発展のために、幅広くご活用いただけますと幸いです。



目次

調査概要	04
サマリー	05
エンジニア属性	07
エンジニアに人気の開発言語・ツール	18
エンジニアの働き方	29
年収1,000万円超えプレイヤーの共通点とは	36
生成AIツール	45
年収・転職	51
個人・企業の情報発信	60
Qiita利用状況	65
スキルアップのための取り組み	67
お問い合わせ	70

調査概要

調査目的	国内エンジニアの動向把握
調査方法	インターネット上でアンケートを実施
調査期間	2025/11/10（月）～2025/12/14（日）
調査項目	最大65問
調査対象	Qiitaユーザー
回答者数	2,317人（うちエンジニア 1,927名、エンジニア未経験 390名）

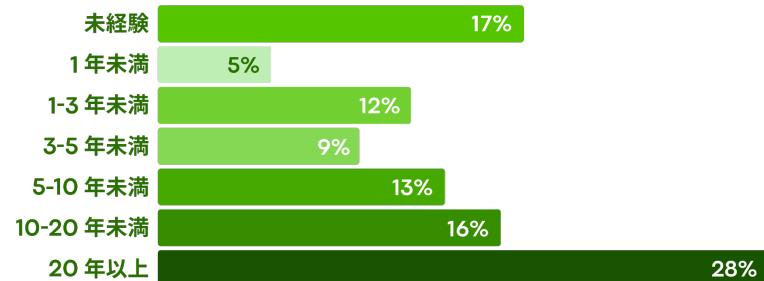
サマリー

エンジニア属性

34歳未満のエンジニアが全体の4割以上（43%）を占める



エンジニア経験では、未経験17%、3年未満17%、3-5年未満9%、5-10年未満13%、10年-20年未満16%、20年以上28%



言語

「よく使う言語」

「これから習得したい言語」の1位はどちらもPython

■ よく使う言語

1位 Python

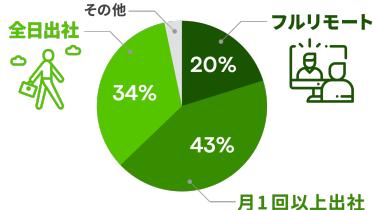
2位 JavaScript

3位 SQL

サマリー

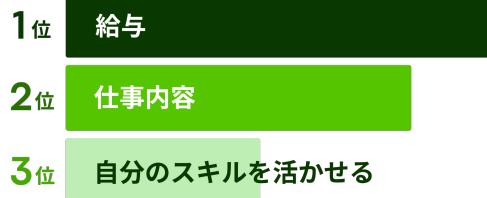
働き方

昨年と比べ、フルリモート、
全日出社などの割合に大きな
変化はなかった



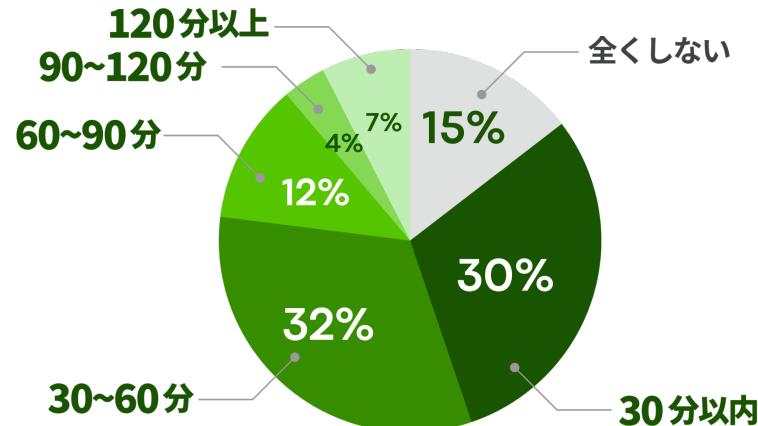
転職

転職時に重視する項目は、1位「給与」、2位「仕事内容」、
3位「自分のスキルを活かせる」



スキルアップのための自主的な取り組み

仕事がある日の1日の平均勉強時間は、
30分以上が55%

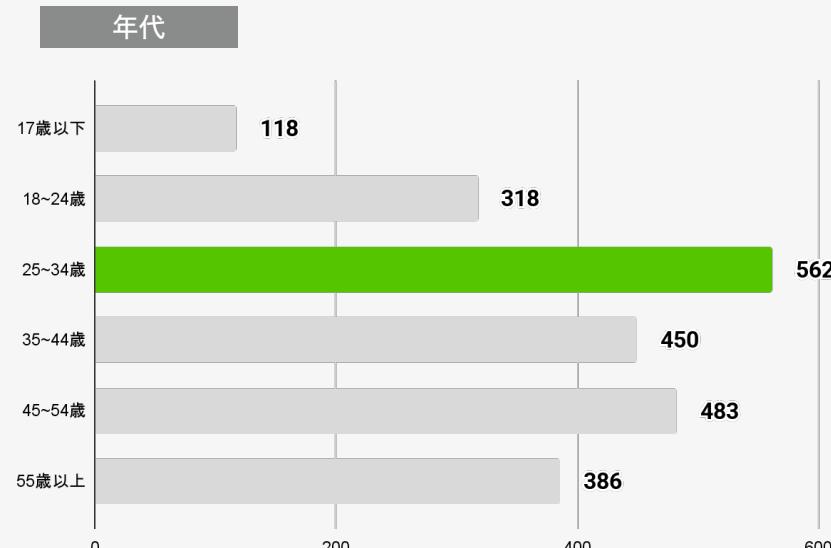


エンジニア属性



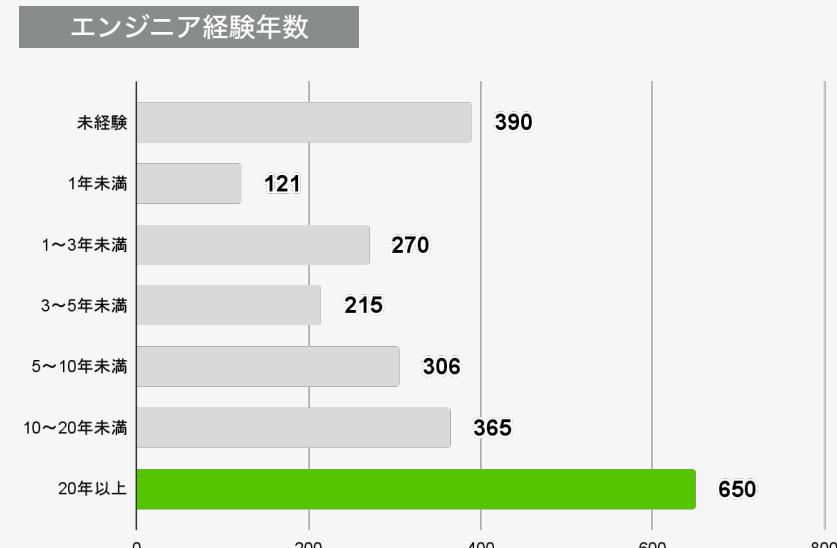
年代・エンジニア経験年数

□ 年代は25-34歳が最も多い



*N=2,317

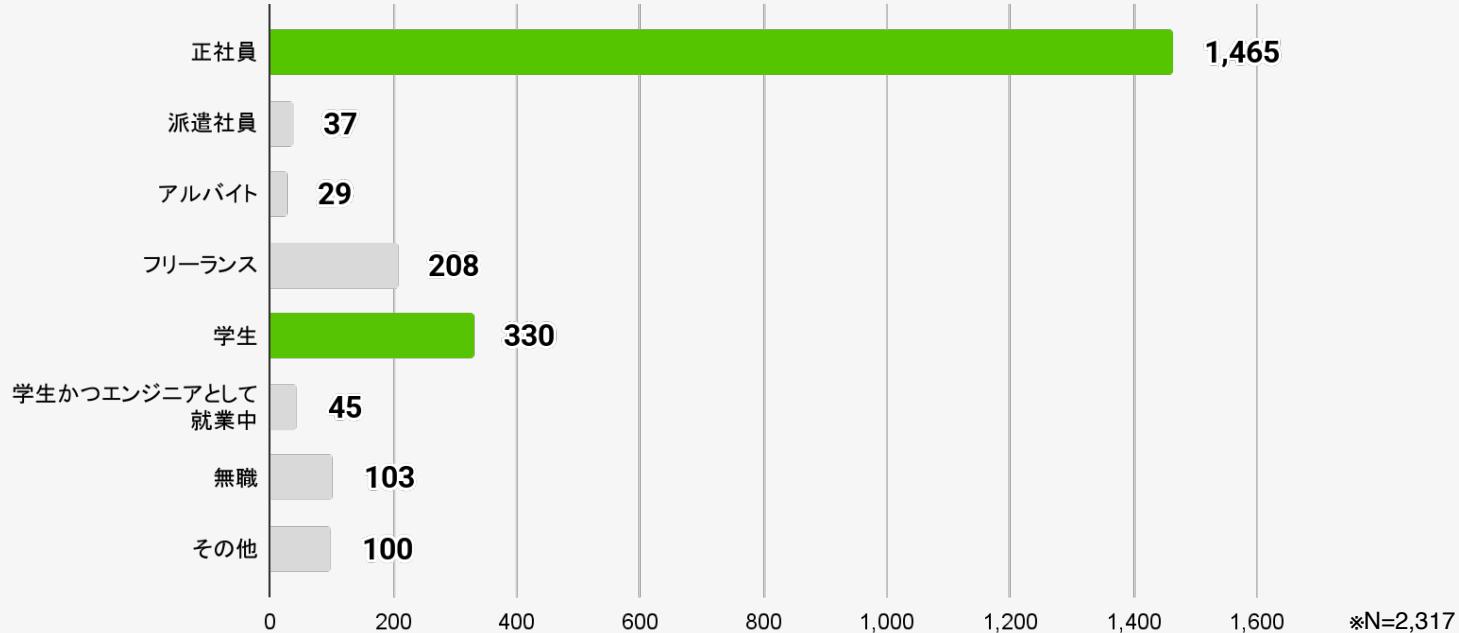
□ エンジニア経験年数は、20年以上が最も多い



*N=2,317

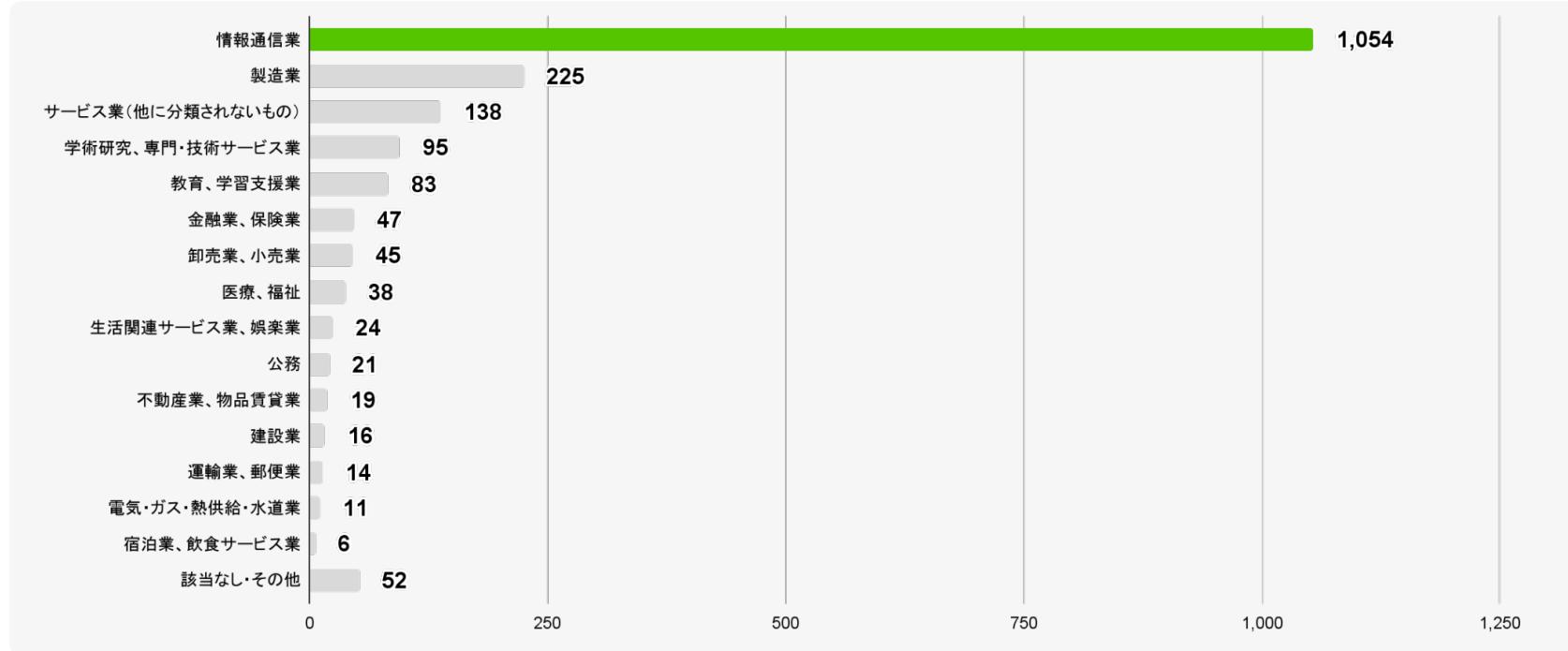
就業区分

- 正社員が最も多く（63%）、次いで学生（14%）
- その他に含まれている、嘱託職員や再雇用が増加傾向にある



業種

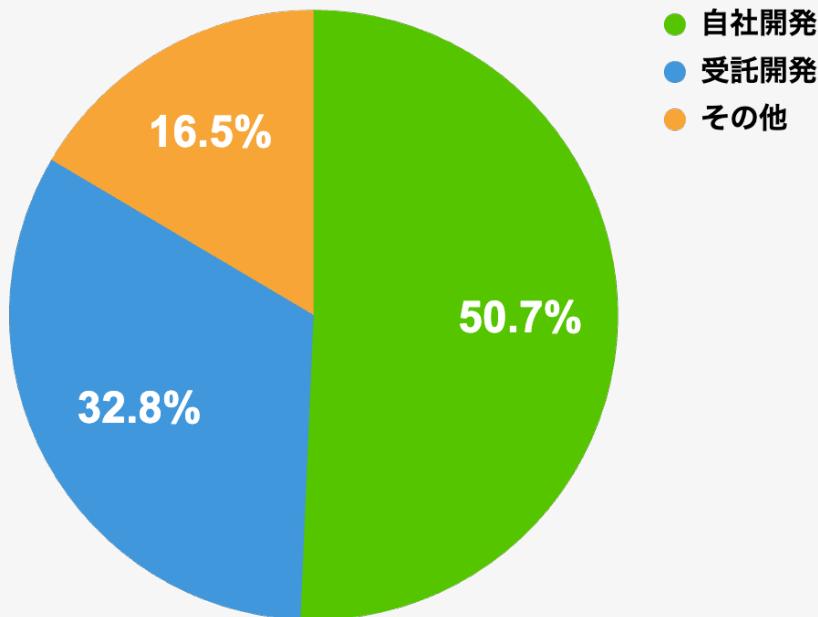
□ 情報通信業が最も多く56%を占める、次いで製造業（12%）、サービス業（他に分類されないもの）（7%）



※N=1,888。学生・無職を除く。

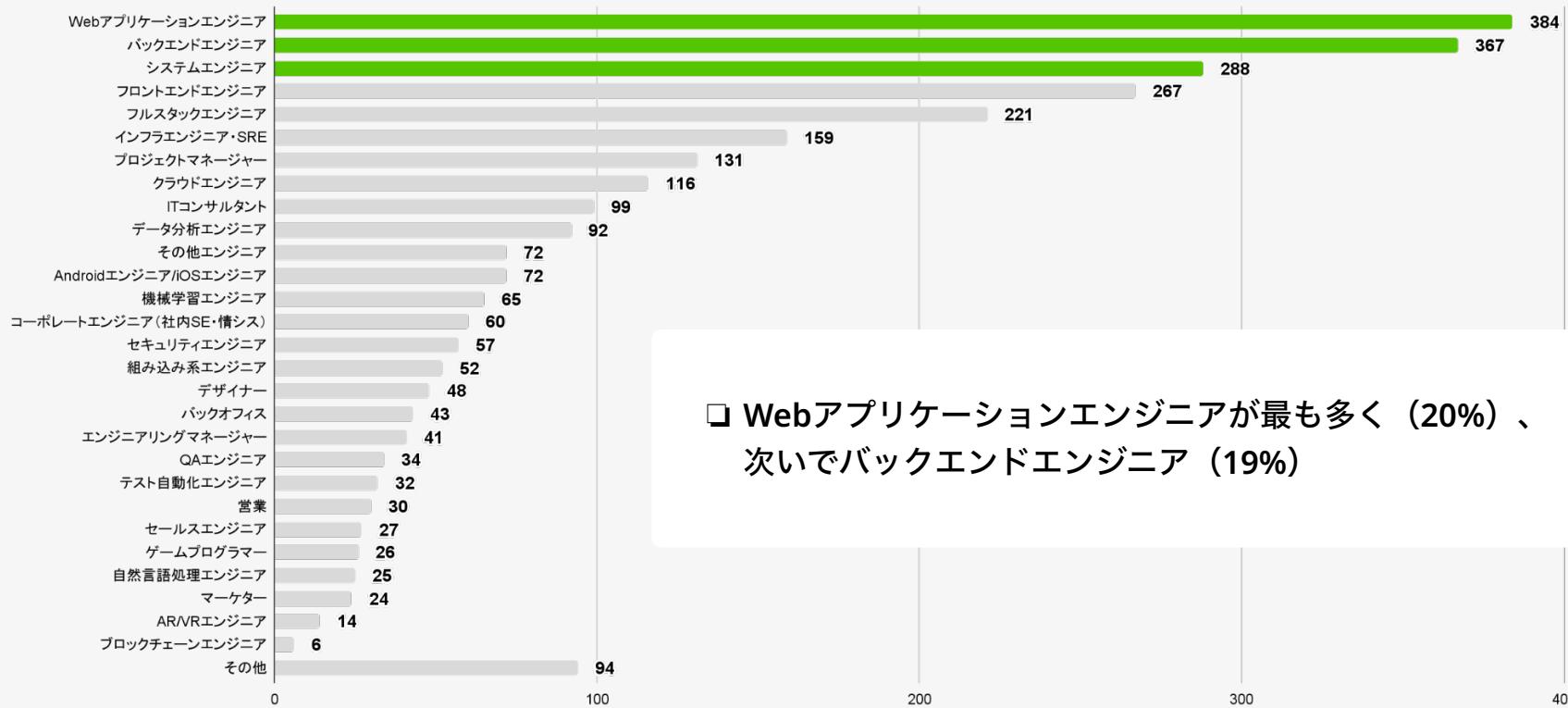
開発形態

□ 開発形態では自社開発が約51%、受託開発が約33%



*N=1,888。学生・無職を除く。

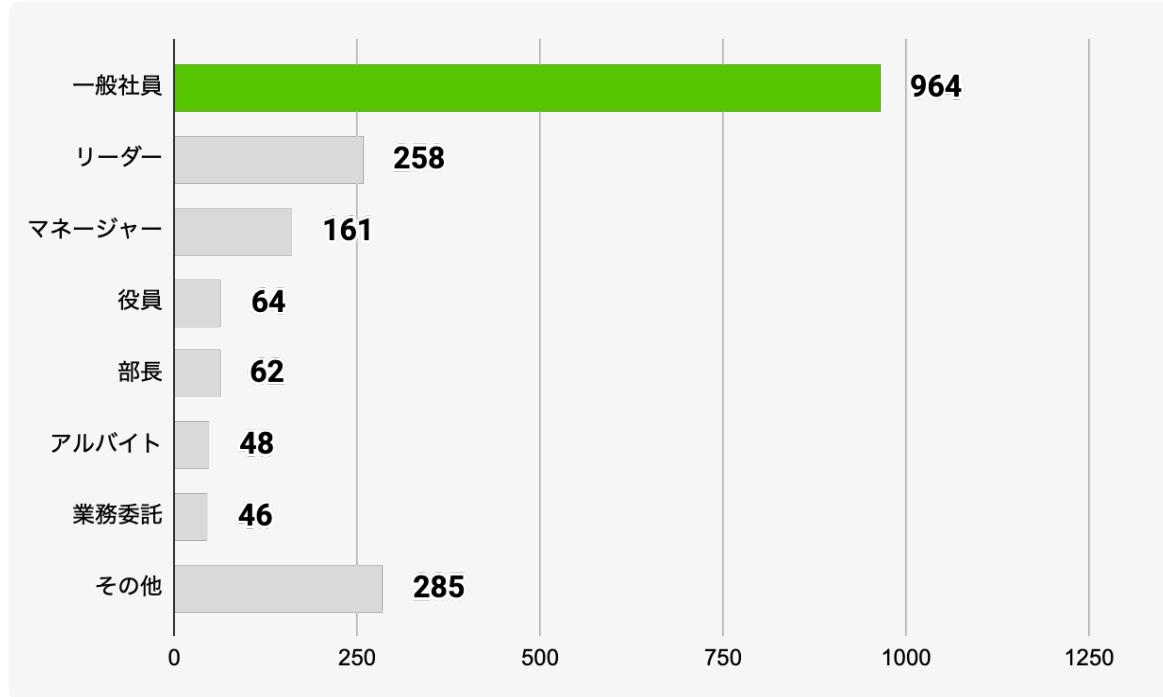
職種（全体）



*N=1,888。学生・無職を除く。

役職

□ 一般社員が最も多く51%、次いでリーダーが13%、マネージャー・役員・部長は3つの役職で計15%

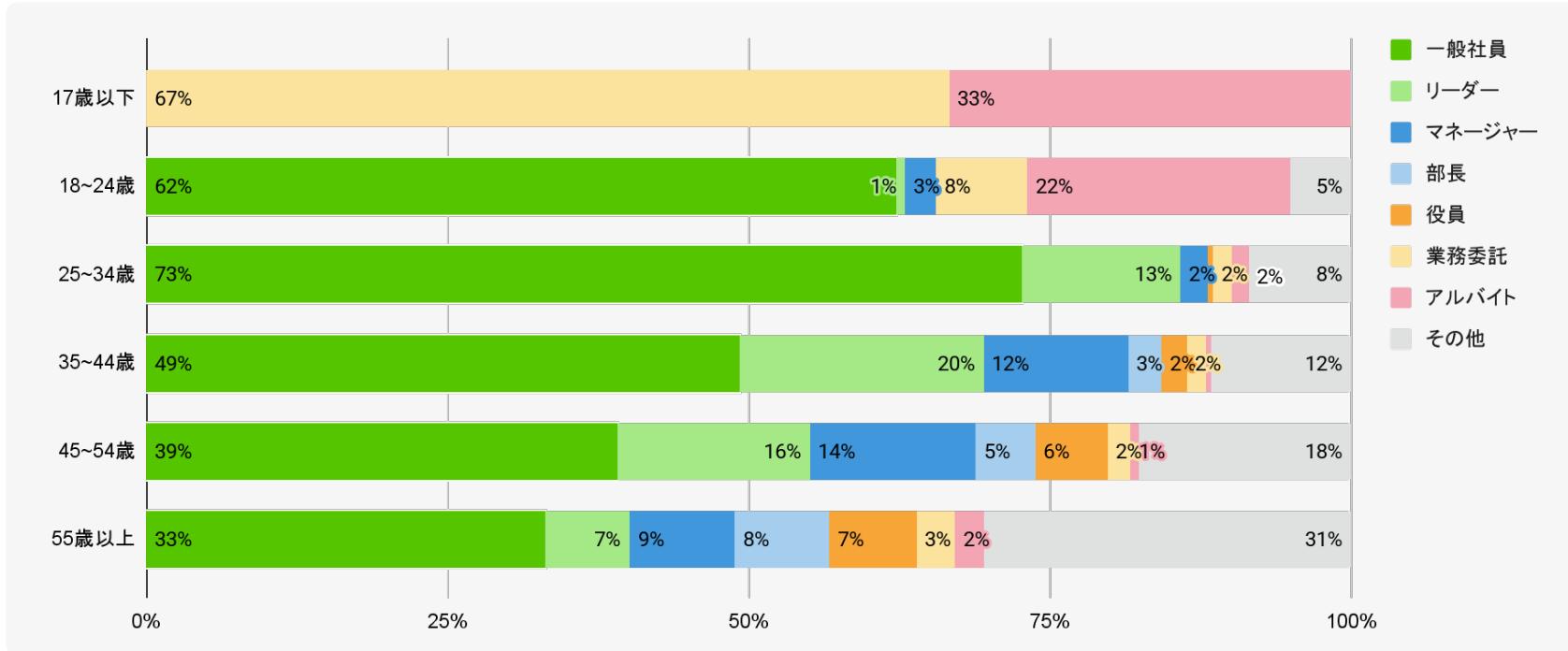


*N=1,888。学生・無職を除く。



役職（年代別）

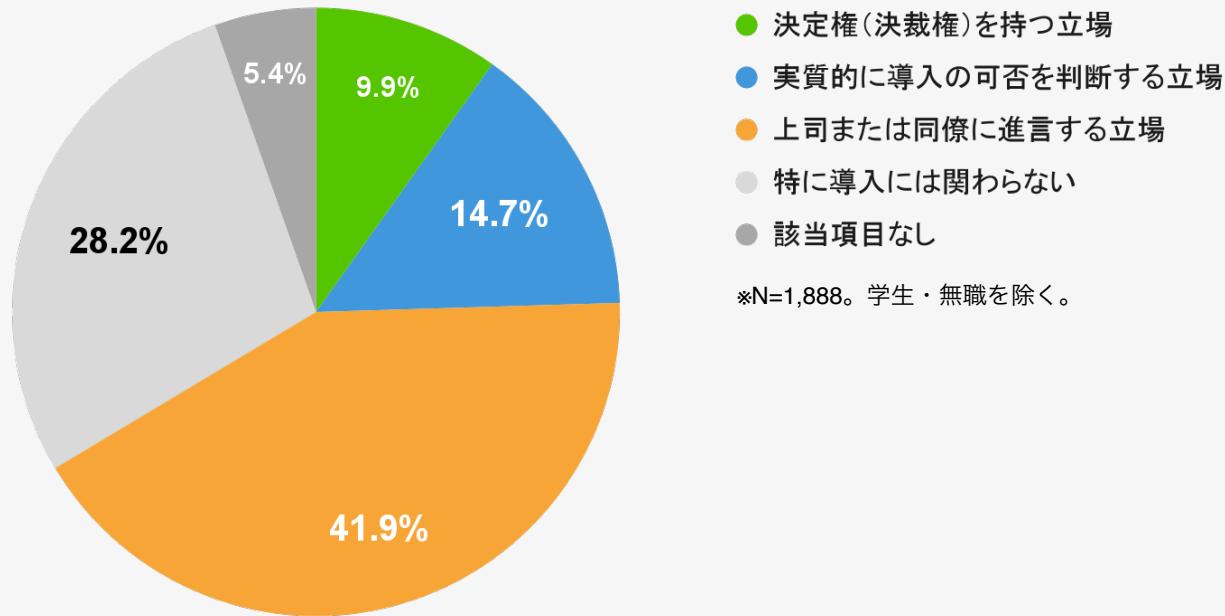
- 年代別では、25-34歳の15%がリーダー以上の役職に就いている
- 35-44歳では37%以上、45歳以上では36%以上となっている



*N=1,888。学生・無職を除く。

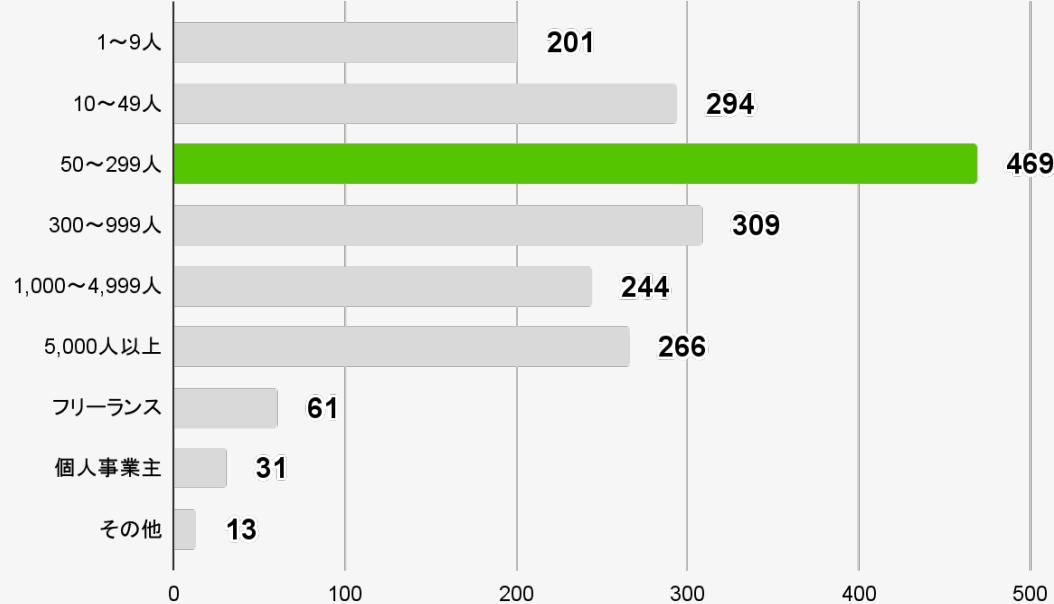
ツールやクラウドなどの導入について

□ 40%以上がツールの導入に対して「進言・提案」を行う立場にある



企業規模

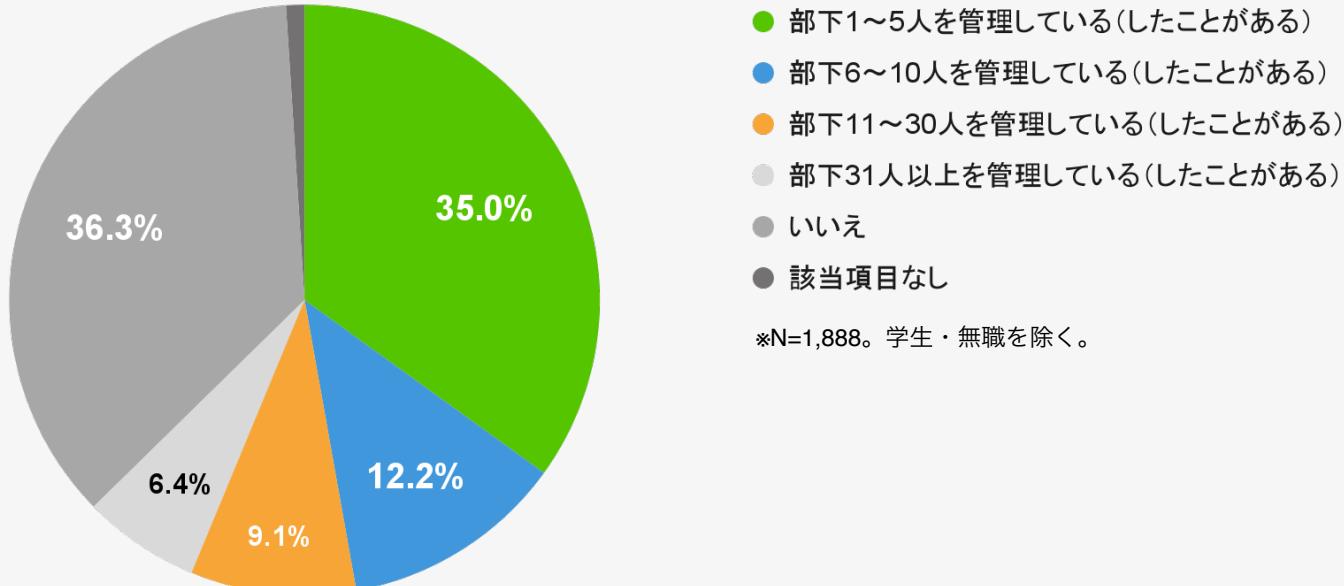
- 最も回答が多かったのは50～299人規模の企業の所属
- 50人未満で全体の26%、300-1,000人未満16%、1,000人以上で27%を占める



*N=1,888。学生・無職を除く。

マネジメント経験の有無

□ マネジメント経験がある人は全体の約63%



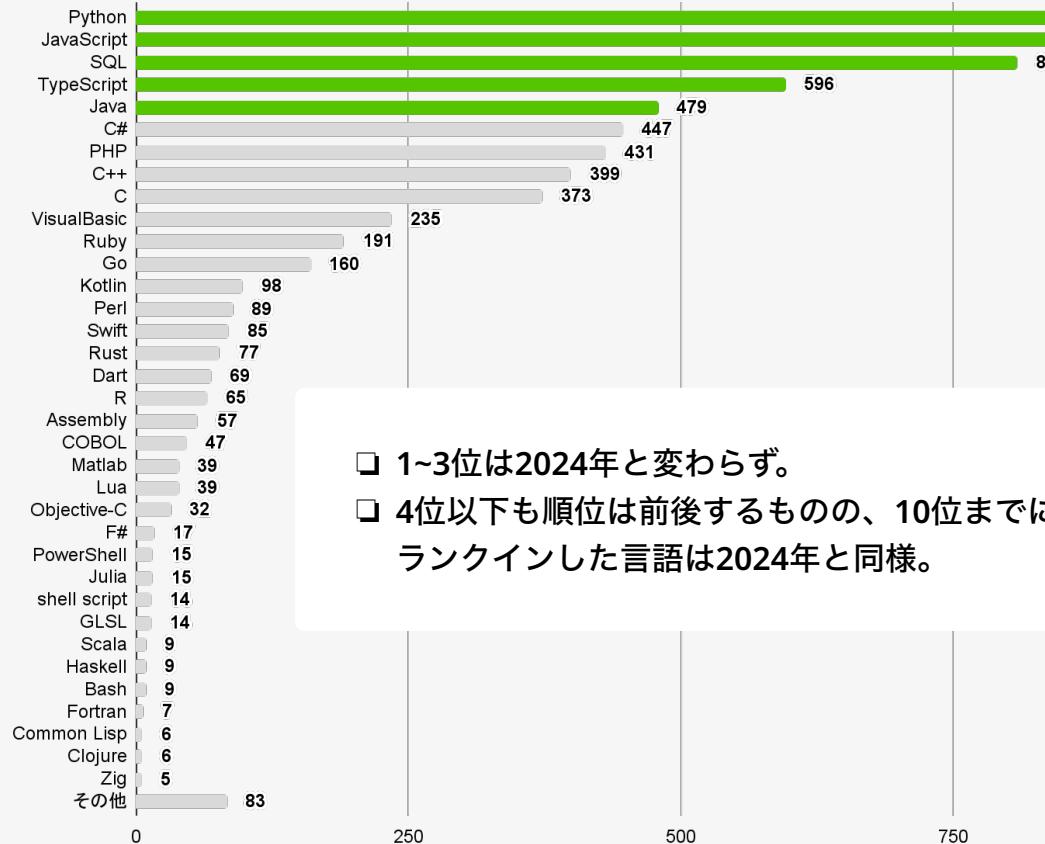
エンジニアに人気の開発言語・ツール

HTML
CSS JS </>

PHP GO



よく使う言語

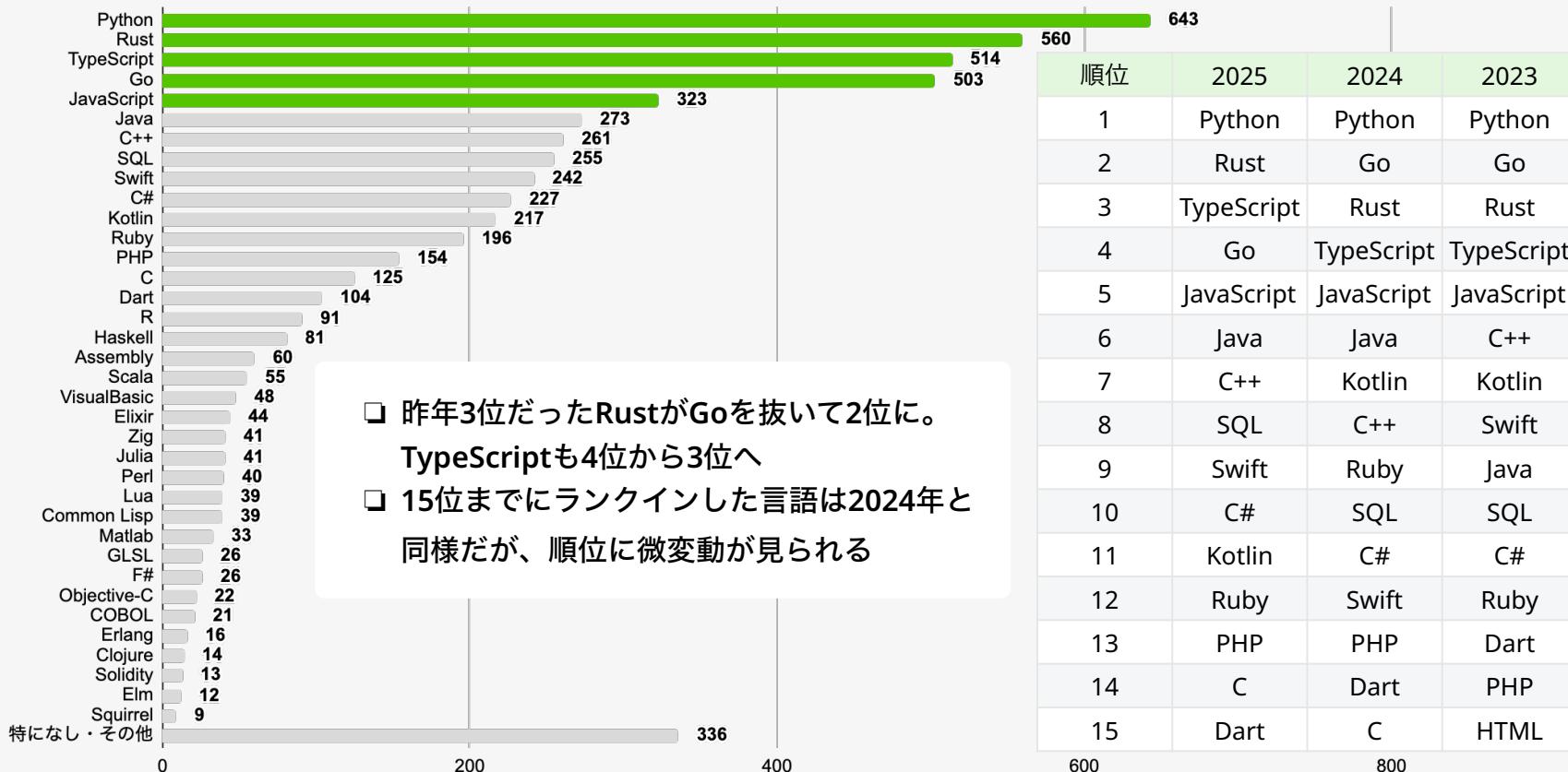


- 1~3位は2024年と変わらず。
- 4位以下も順位は前後するものの、10位までにランクインした言語は2024年と同様。

順位	2025	2024	2023
1	Python	Python	JavaScript
2	JavaScript	JavaScript	Python
3	SQL	SQL	HTML
4	TypeScript	Java	SQL
5	Java	TypeScript	CSS
6	C#	PHP	PHP
7	PHP	C#	Java
8	C++	C	C#
9	C	C++	TypeScript
10	VisualBasic	VisualBasic	C

※N=2,317。複数回答。

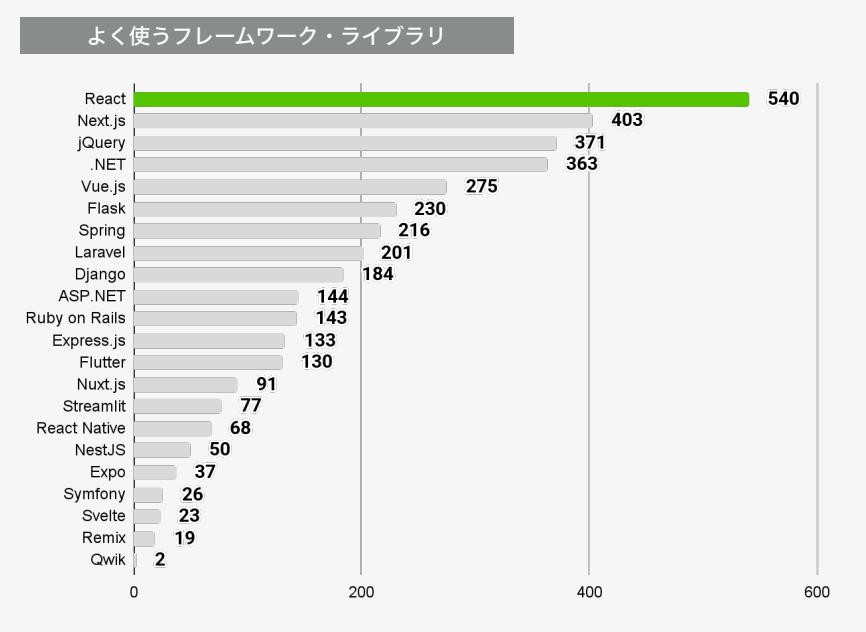
これから習得したい言語



*N=2,317。複数回答。

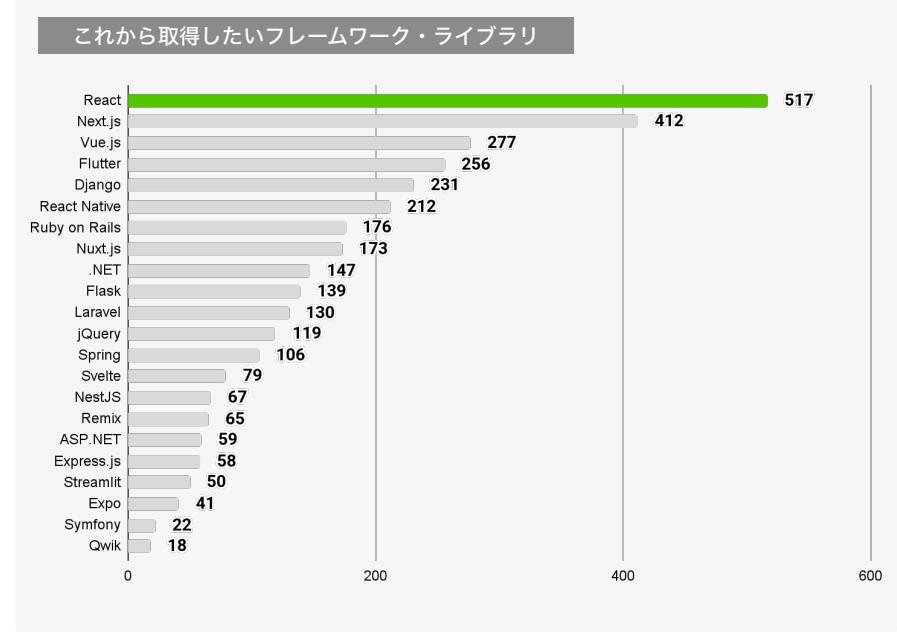
アプリケーション開発のフレームワーク・ライブラリ

□ 1位React (36%)、2位Next.js (28%)、3位jQuery (26%)



*N=1,440。使用していない、その他と回答した人を除く。複数回答。

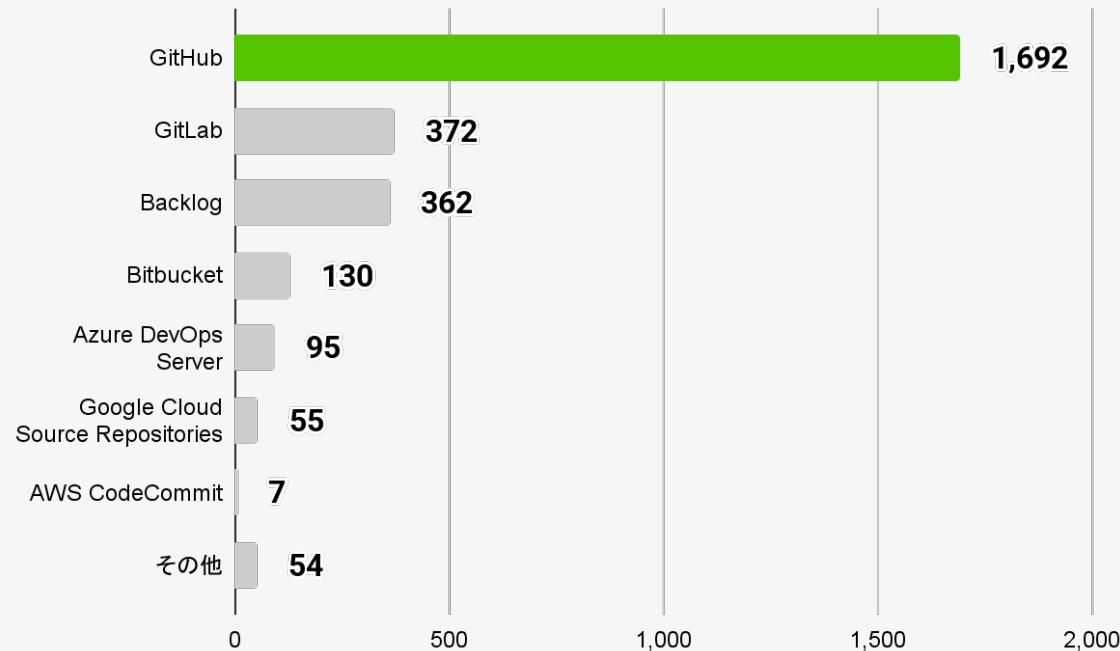
□ 1位React (36%)、2位Next.js (29%)、3位Vue.js (19%)



*N=582。使用していない、その他と回答した人を除く。複数回答。

コード管理

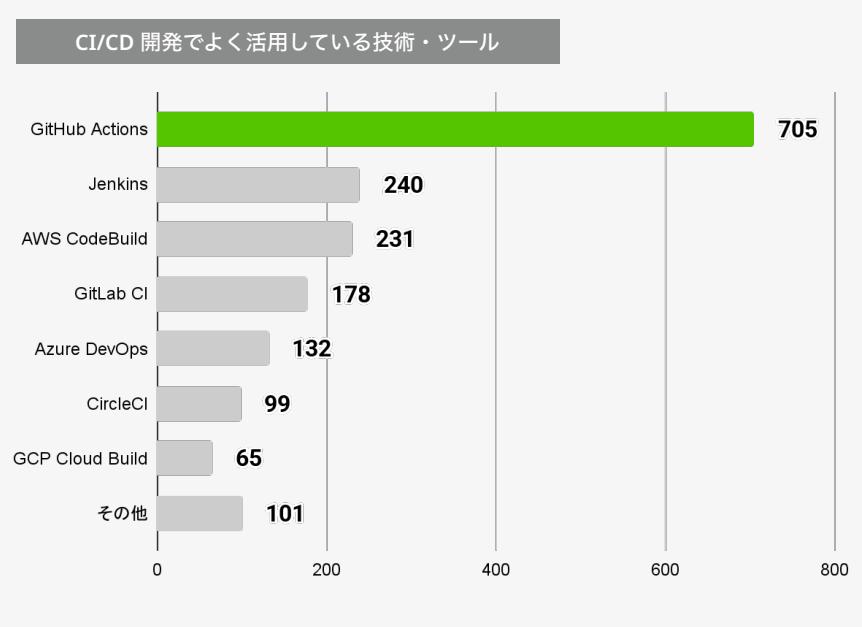
□ 1位GitHub（87%）、2位GitLab（19%）、3位Backlog（18%）



*N=1,949。使用していないを除く。複数回答。

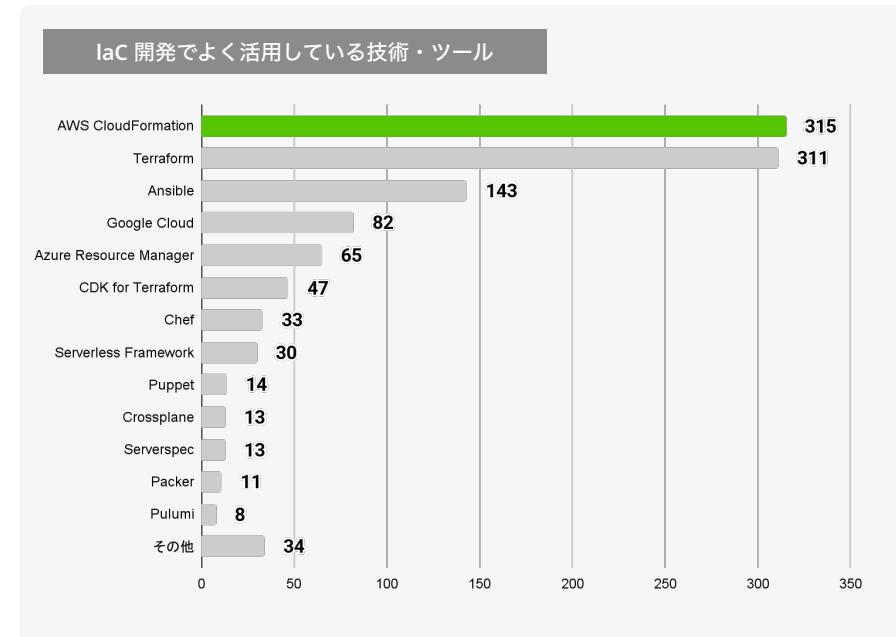
開発でよく活用している技術・ツール（1）

- 1位GitHub Actions (67%)、2位Jenkins (23%)、3位AWS CodeBuild (22%)



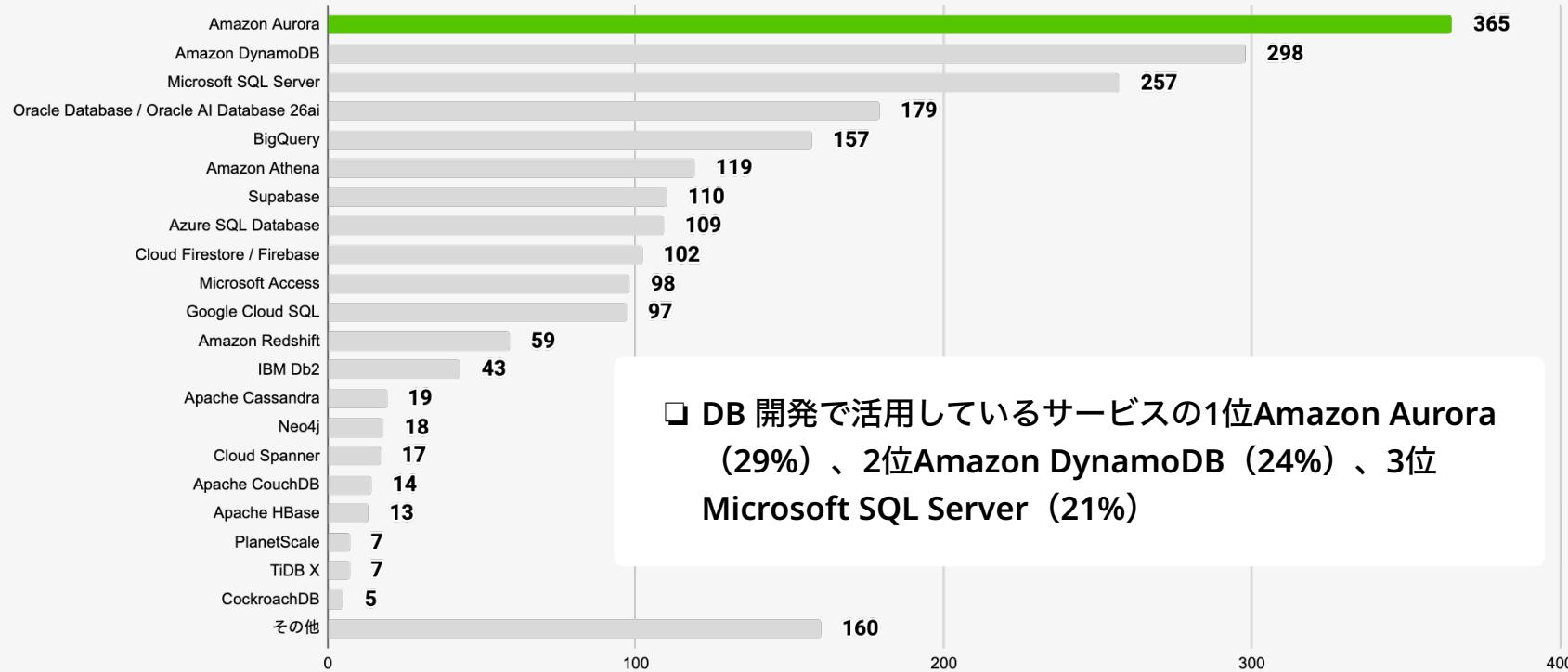
*N=1,057。使用していないを除く。複数回答。

- 1位AWS CloudFormation (41%)、2位Terraform (41%)、3位Ansible (19%)



*N=760。使用していないを除く。複数回答。

開発でよく活用している技術・ツール（2）

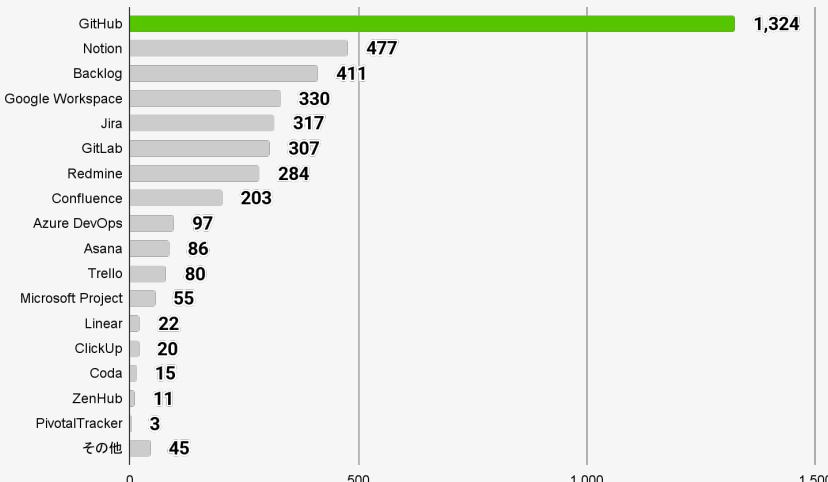


□ DB 開発で活用しているサービスの1位Amazon Aurora
(29%)、2位Amazon DynamoDB (24%)、3位
Microsoft SQL Server (21%)

開発でよく活用している技術・ツール（3）

- 1位GitHub（72%）、2位Notion（26%）、3位Backlog（22%）

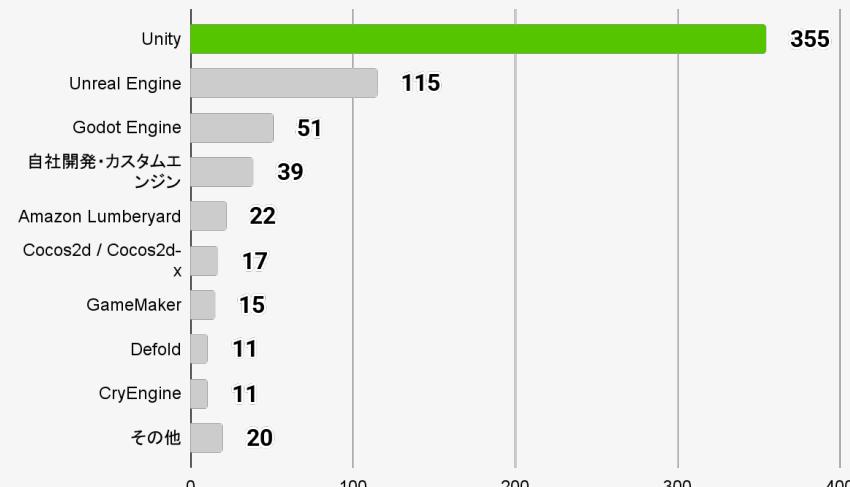
プロジェクト開発でよく活用している技術・ツール



*N=1,852。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

- 1位Unity（77%）、2位Unreal Engine（25%）、3位Godot Engine（11%）

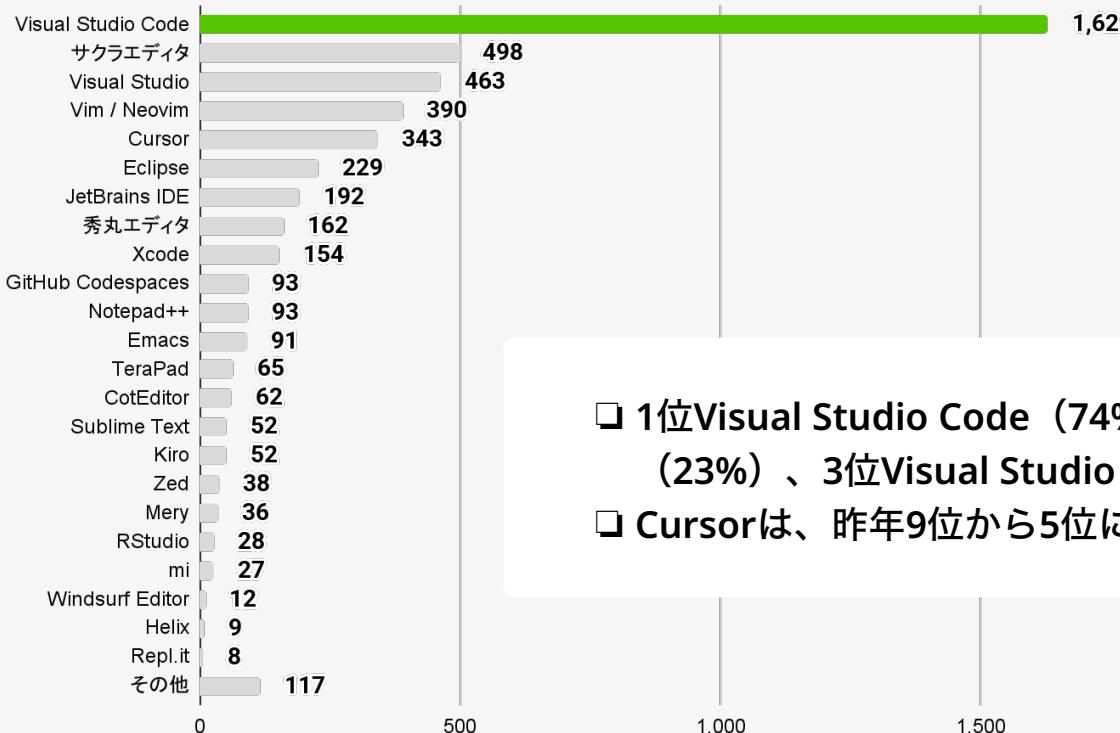
ゲームエンジン開発で活用している技術・ツール



*N=461。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

開発でよく活用している技術・ツール（4）

開発でよく活用しているエディタ

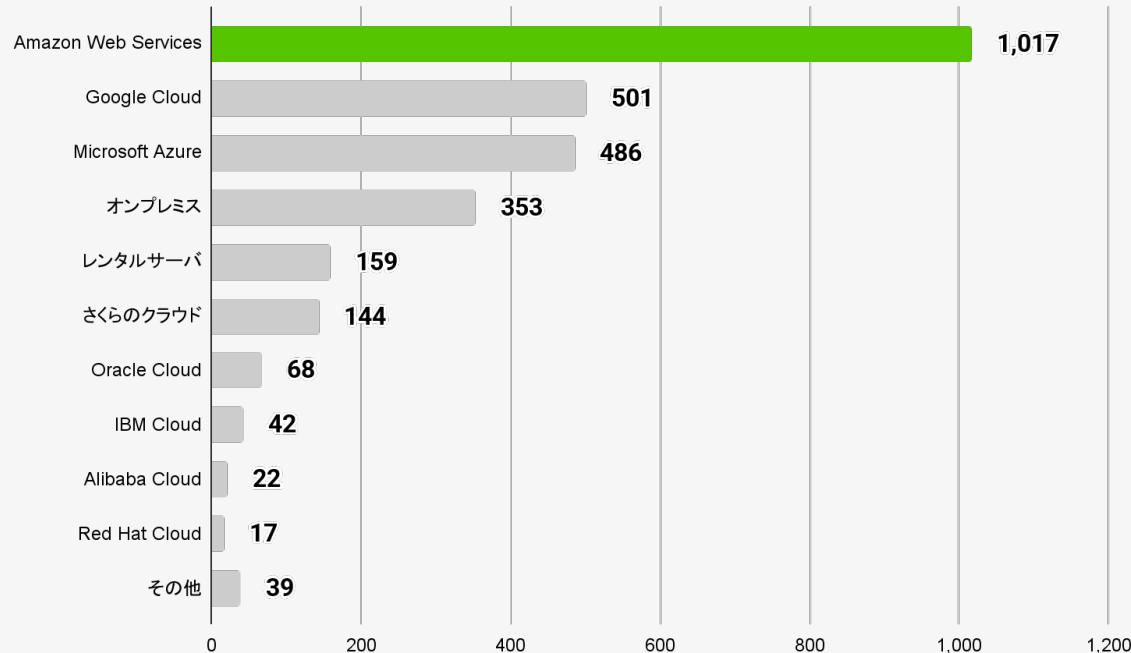


- 1位Visual Studio Code (74%)、2位サクラエディタ (23%)、3位Visual Studio (21%)
- Cursorは、昨年9位から5位に (16%)

*N=2,191。使用していないと回答した人を除く。複数回答。

勤務先で導入しているサーバ（全体）

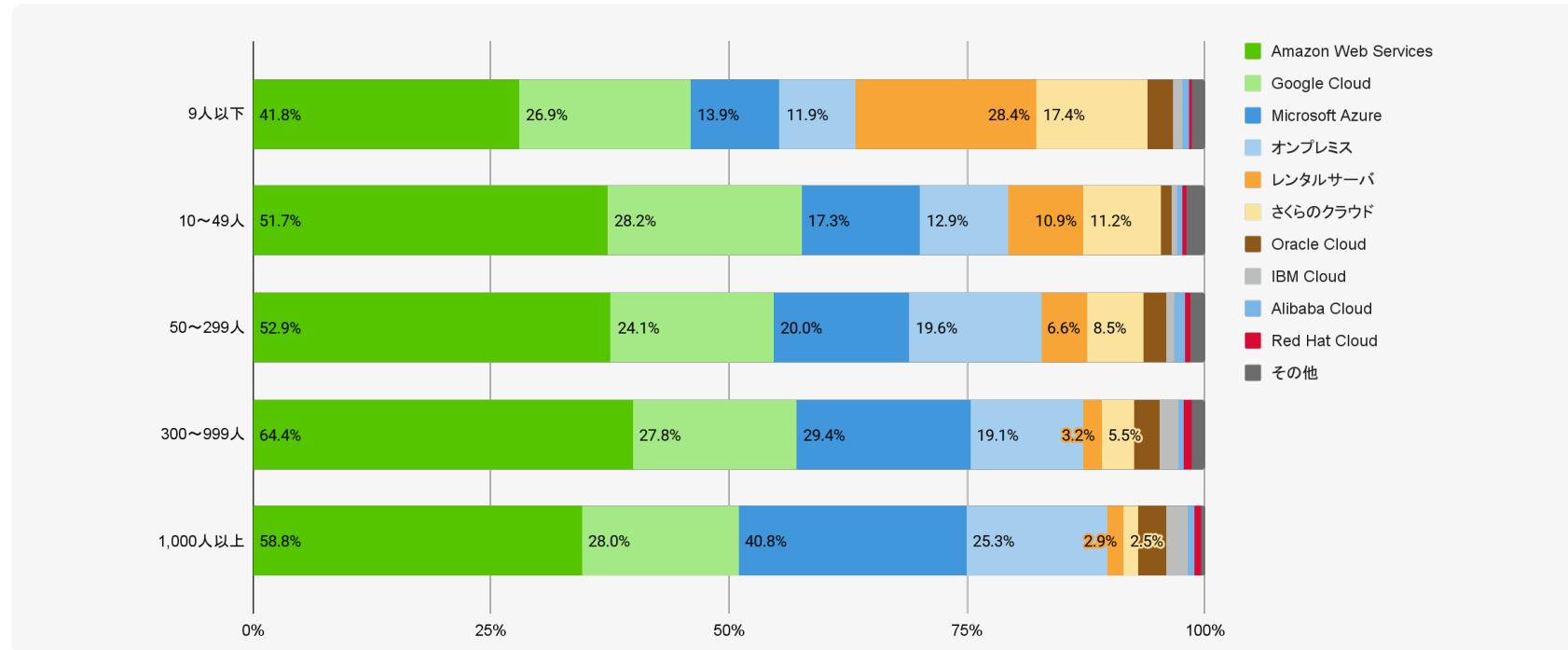
- 勤務先で導入しているパブリッククラウド、サーバーホスティングサービスは、1位Amazon Web Services (54%)、2位Google Cloud (27%)、3位Microsoft Azure (26%)



*N=1,888。学生・無職を除く。複数回答。

勤務先で導入しているサーバ（企業規模別）

- 全企業で一番導入率が高いのはAWS
- 企業規模の大きさに比例して、Microsoft Azure、オンプレミスの導入率が高くなる



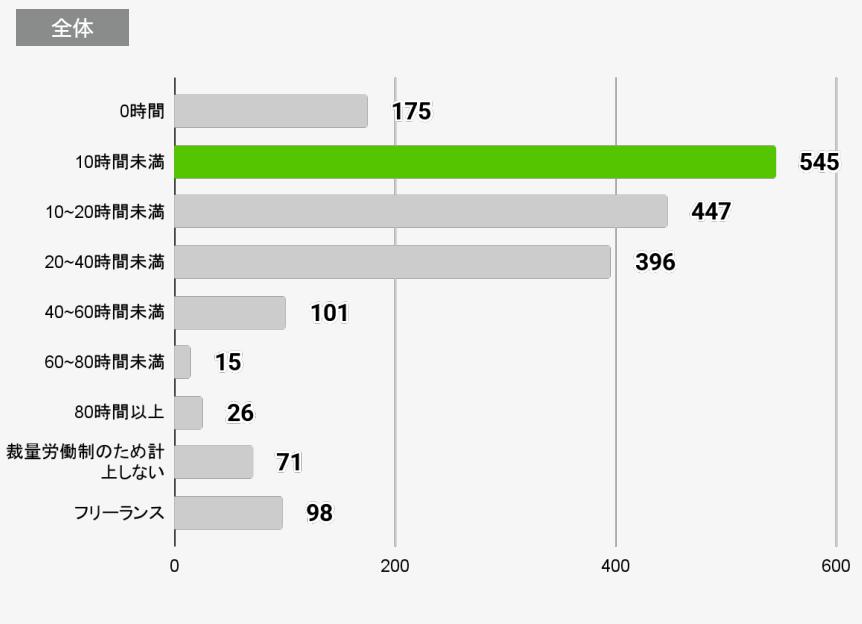
*N=1,888。学生・無職を除く。複数回答。

エンジニアの働き方



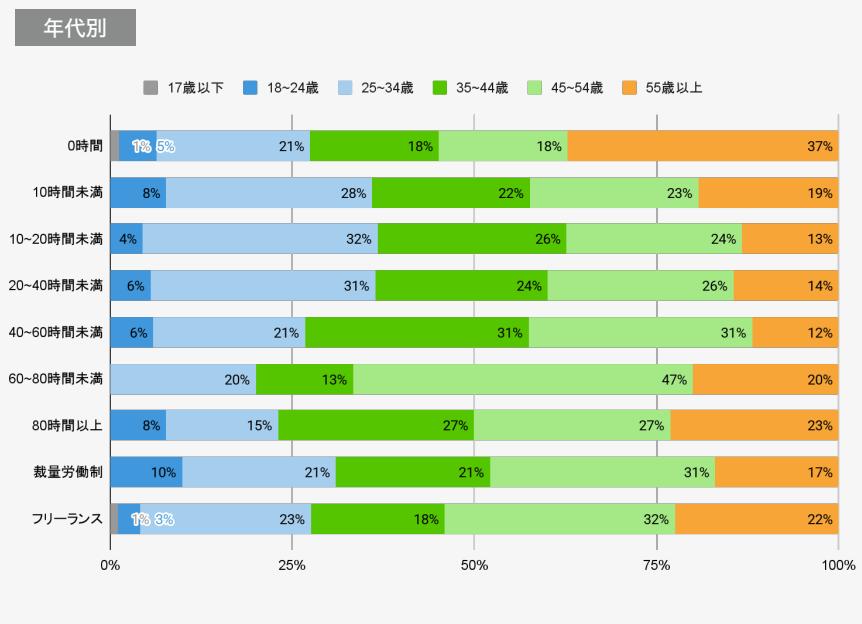
1ヶ月の平均残業時間

□ 10時間未満が最も多く29%を占める、0時間は9%



*N=1,888。学生・無職を除く。

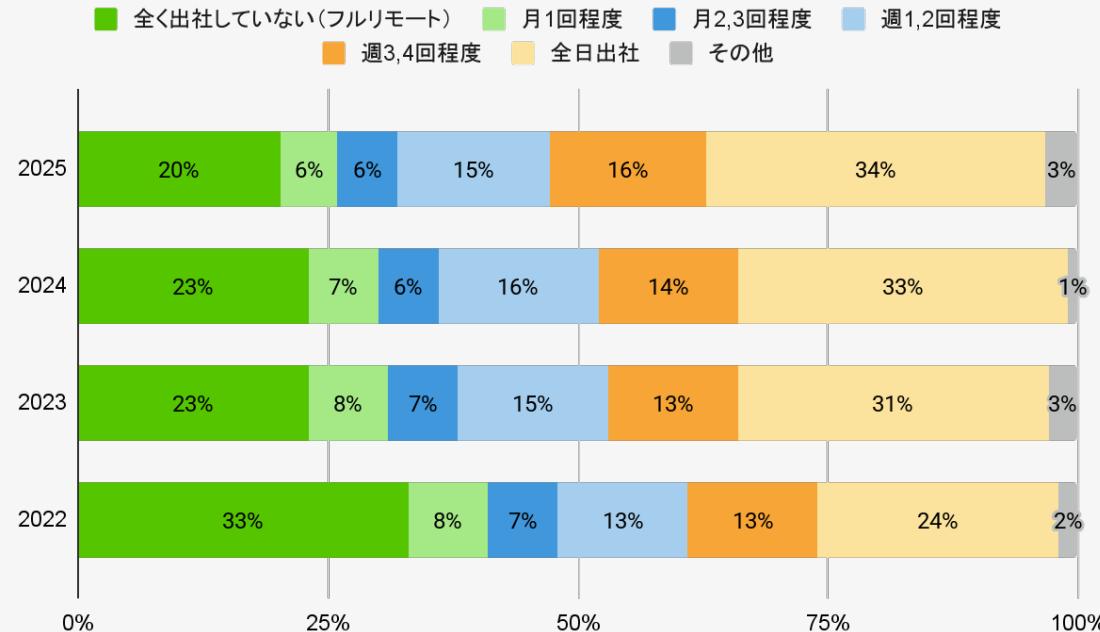
□ 80時間以上の残業をしているのは35歳以上が77%



*N=1,888。学生・無職を除く。

出社頻度

□ フルリモートは20%にとどまる一方、全日出社が34%を占めている

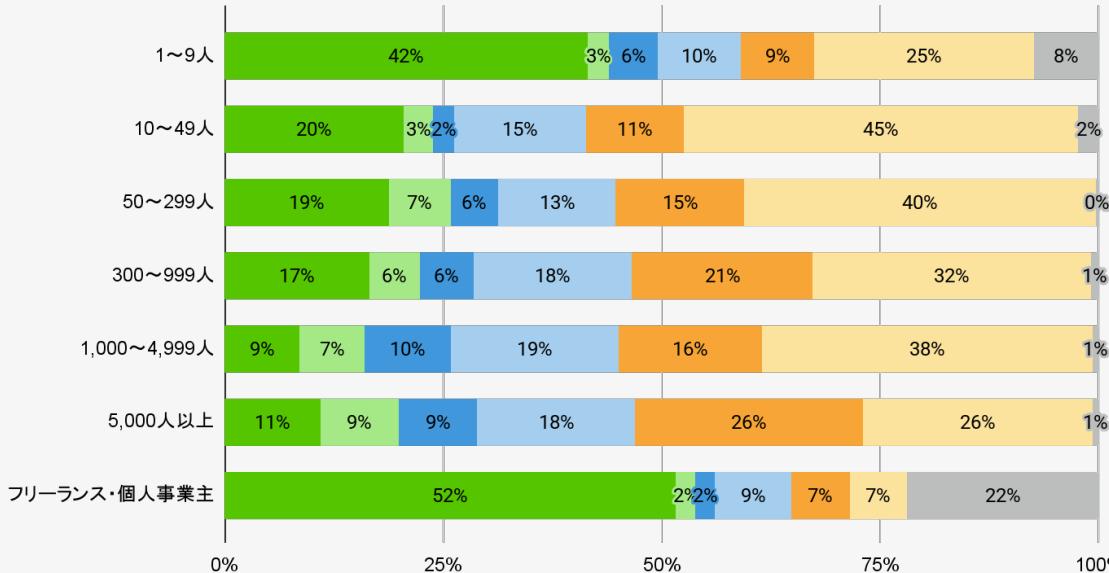


*N=1,888。学生・無職を除く。勤務していないため、該当項目なし。

出社頻度（企業規模）

- 1~9人の少人数では、フルリモートの割合が高い
- 5,000人未満の企業では企業規模が小さくなるにつれて、フルリモートの割合が増加する傾向

■ 全く出社していない(フルリモート) ■ 月1回程度 ■ 月2,3回程度 ■ 週1,2回程度 ■ 週3,4回程度 ■ 全日出社
■ その他

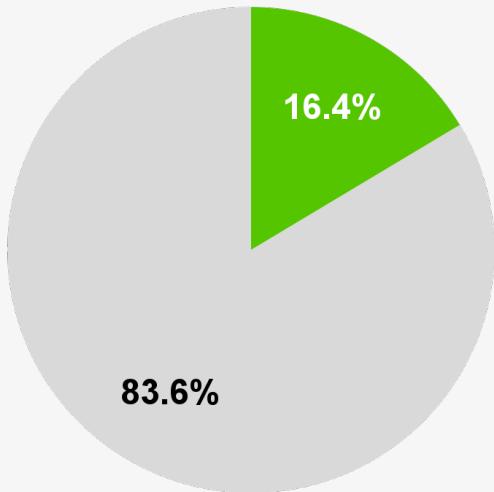


*N=1,888。学生・無職を除く。

副業

□ 副業している割合は全体の約16%

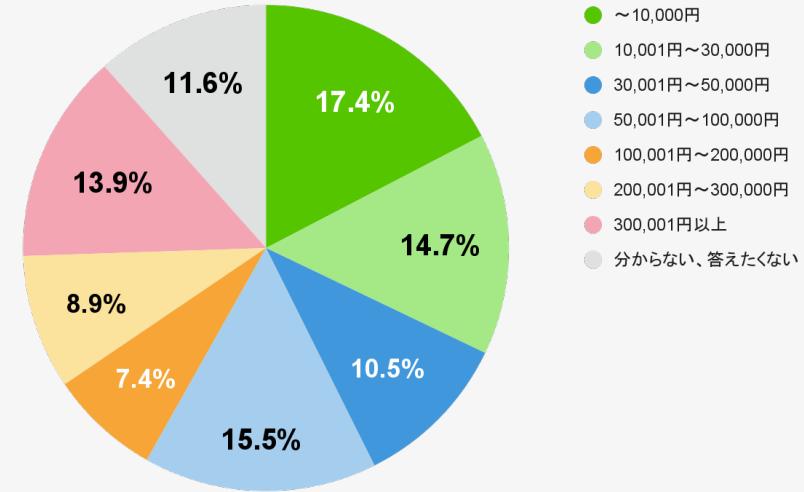
副業はしていますか



*N=2,317

□ 平均月収が10万円以上の割合は全体の約30%

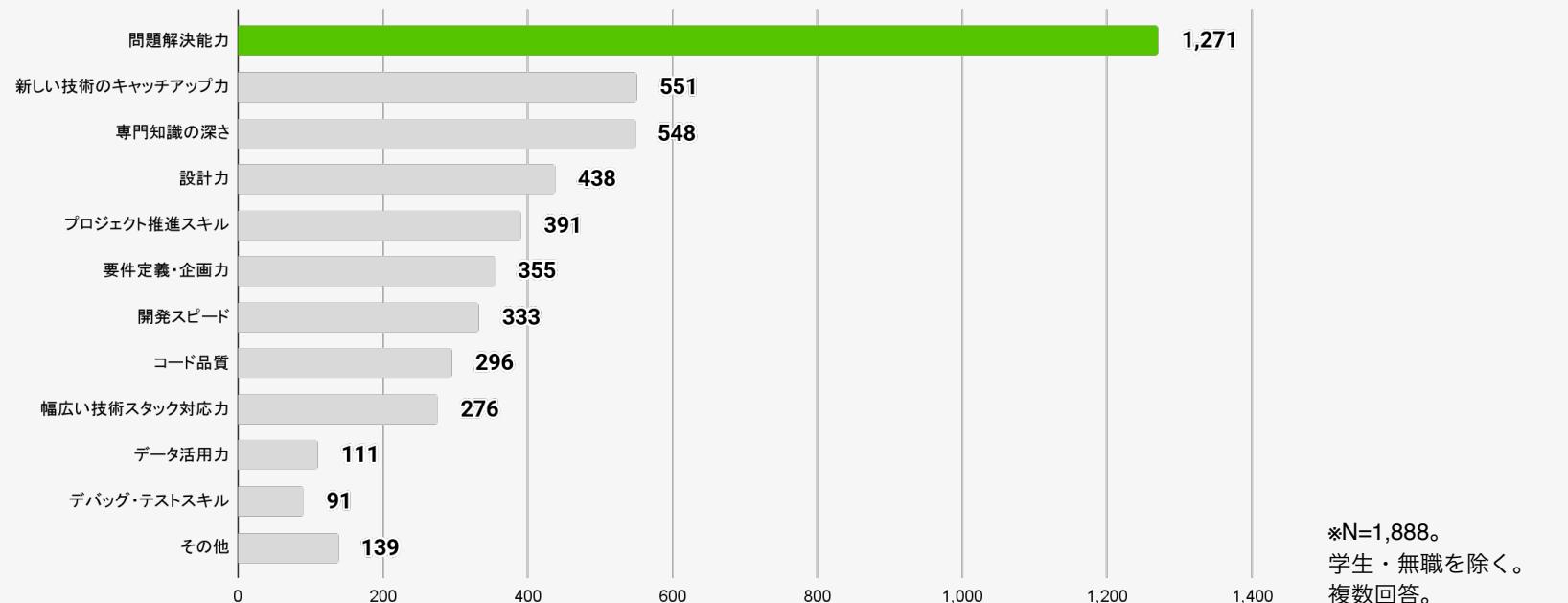
平均月収



*N=380。副業していない人を除く。

活躍しているエンジニアの共通点：スキル編

- 活躍しているエンジニアのスキルの共通点で最も多かったのは「問題解決能力（67%）」

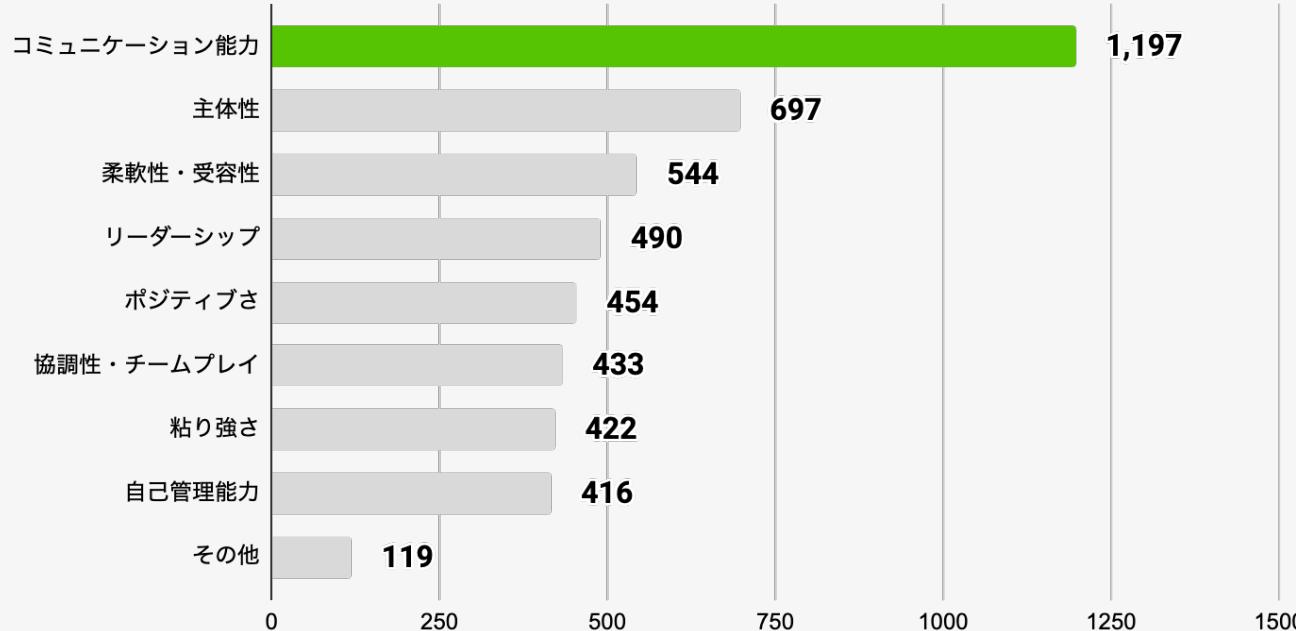


🔗 問題解決能力に関するQiita記事

- [【保存版】3大思考法の徹底比較と実践方法](#)
- [エンジニアとしての問題解決思考](#)

活躍しているエンジニアの共通点：人柄編

- 活躍しているエンジニアの人柄の共通点で最も多かったのは「コミュニケーション能力（63%）」



*N=1,888。
学生・無職を除く。
複数回答。

🔗 コミュニケーション能力に関するQiita記事

- [コミュニケーション能力の正体と「カレー作りの寓話」](#)
- [これで伝わる！エンジニアが言語化力を磨くためのステップ](#)

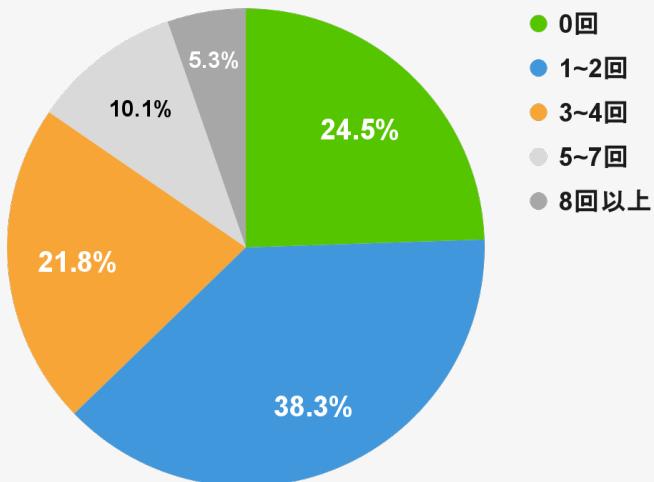
年収1,000万円超えプレイヤーの「共通点」と
年収1,000万円未満との「違い」とは！？



年収1,000万円以上の共通点① 「転職回数・経験年数」

□ 転職回数：2回以下で1,000万円に到達した人が約60%

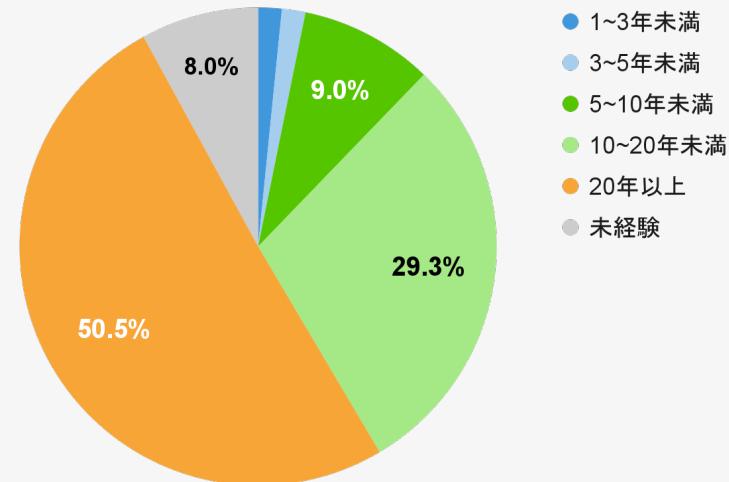
転職回数



*N=188

□ 経験年数：10年以上が約80%。20年以上に絞ると約51%

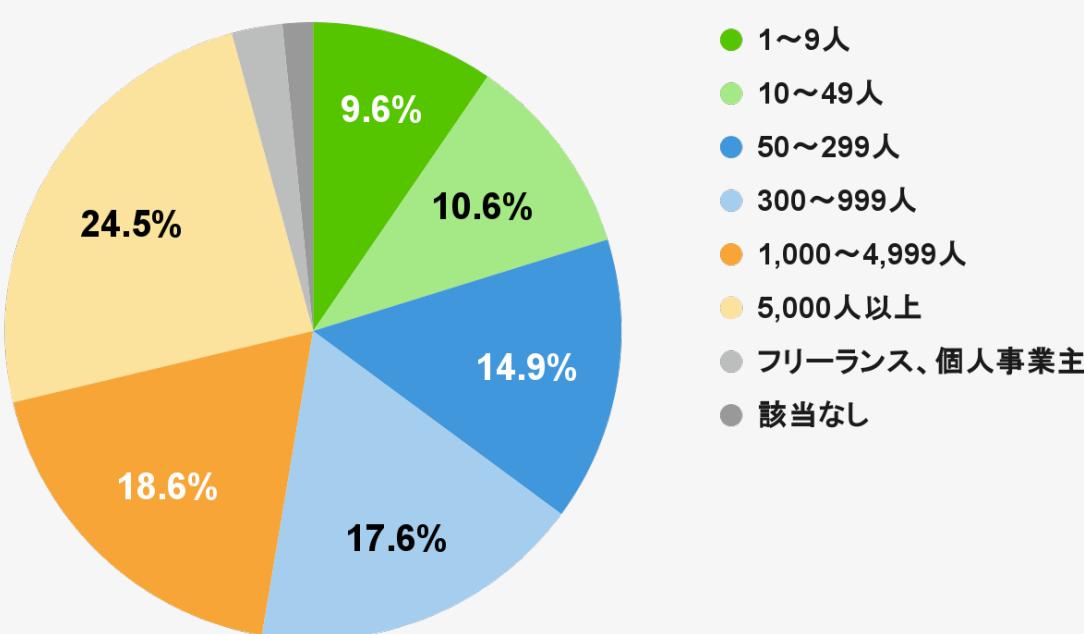
経験年数



*N=188

年収1,000万円以上の共通点② 「企業規模」

□ 1,000人以上の企業規模が全体の約43%、一方で、50人未満の企業でも約20%いる

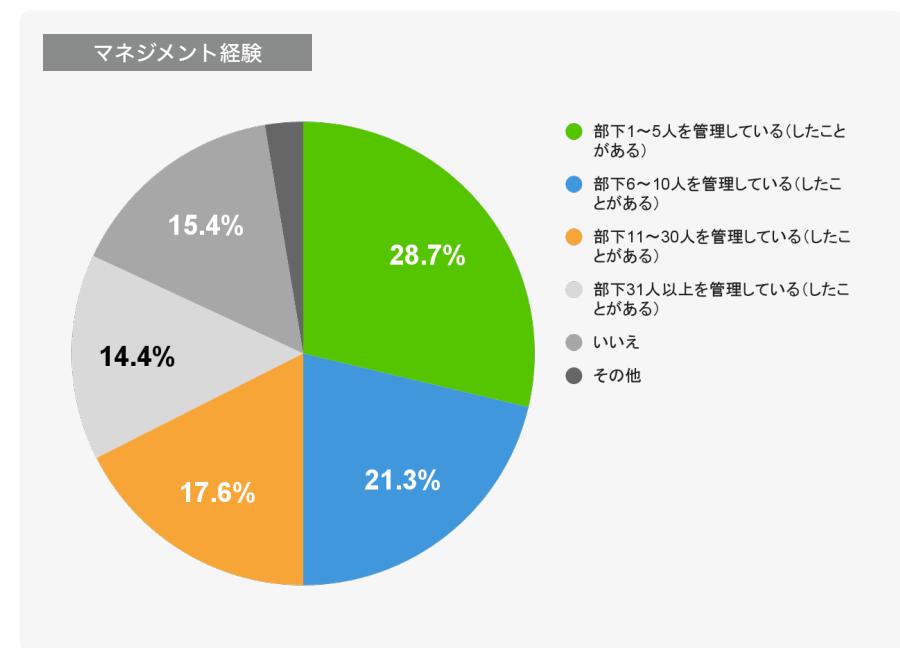
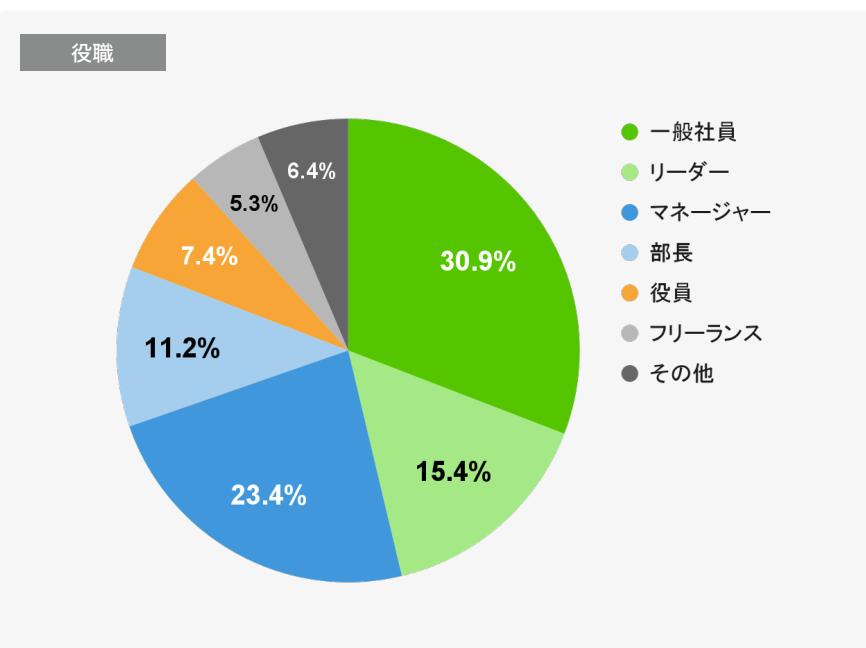


*N=188

年収1,000万円以上の共通点③ 「役職・マネジメント経験」

□ 役職：管理職・リーダー以上が半数以上（約57%）、
一般社員の割合は約31%

□ マネジメント経験：80%以上が経験あり

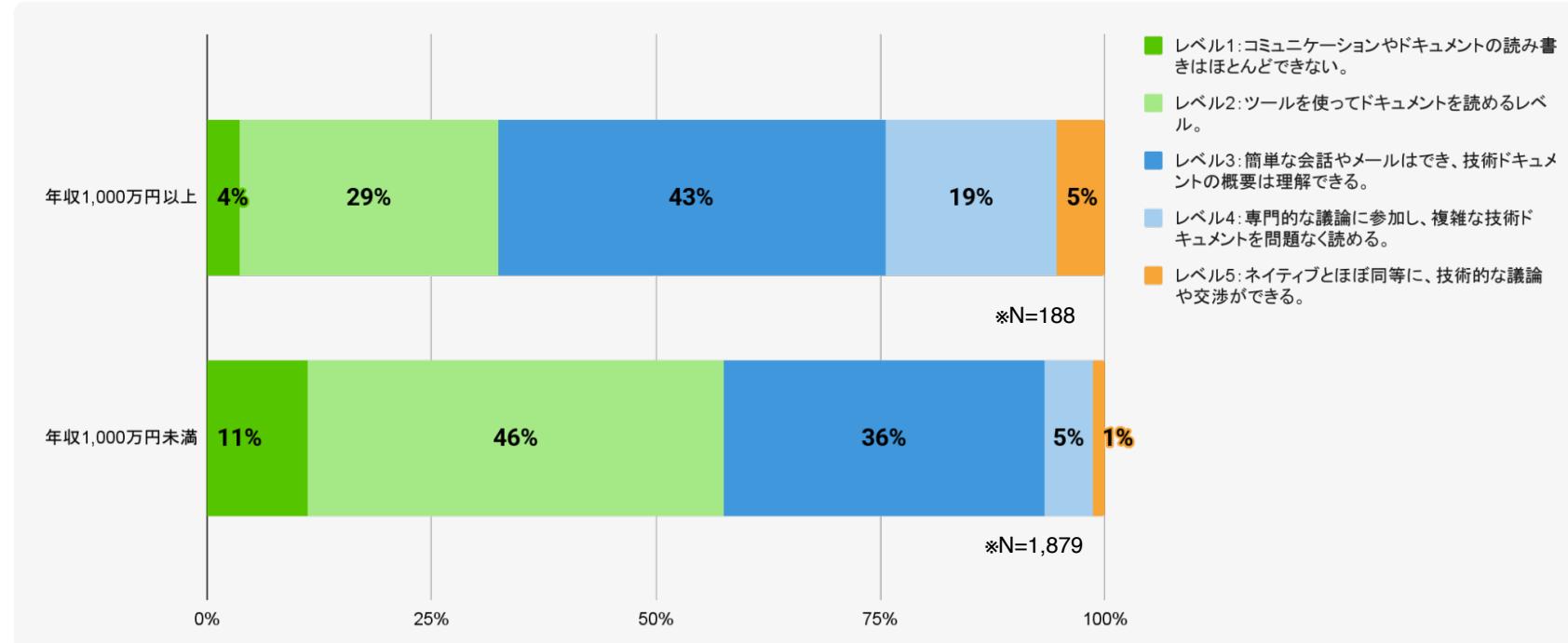


*N=188

*N=188

年収1,000万円未満と年収1,000万円以上の違い① 「英語力」

- 年収1,000万円以上はレベル4以上「専門的な議論や複雑なドキュメント理解（19%）」「ネイティブとほぼ同等に、技術的な議論や交渉ができる（5%）」の割合が24%、年収1,000万円未満はレベル4以上の割合が6%

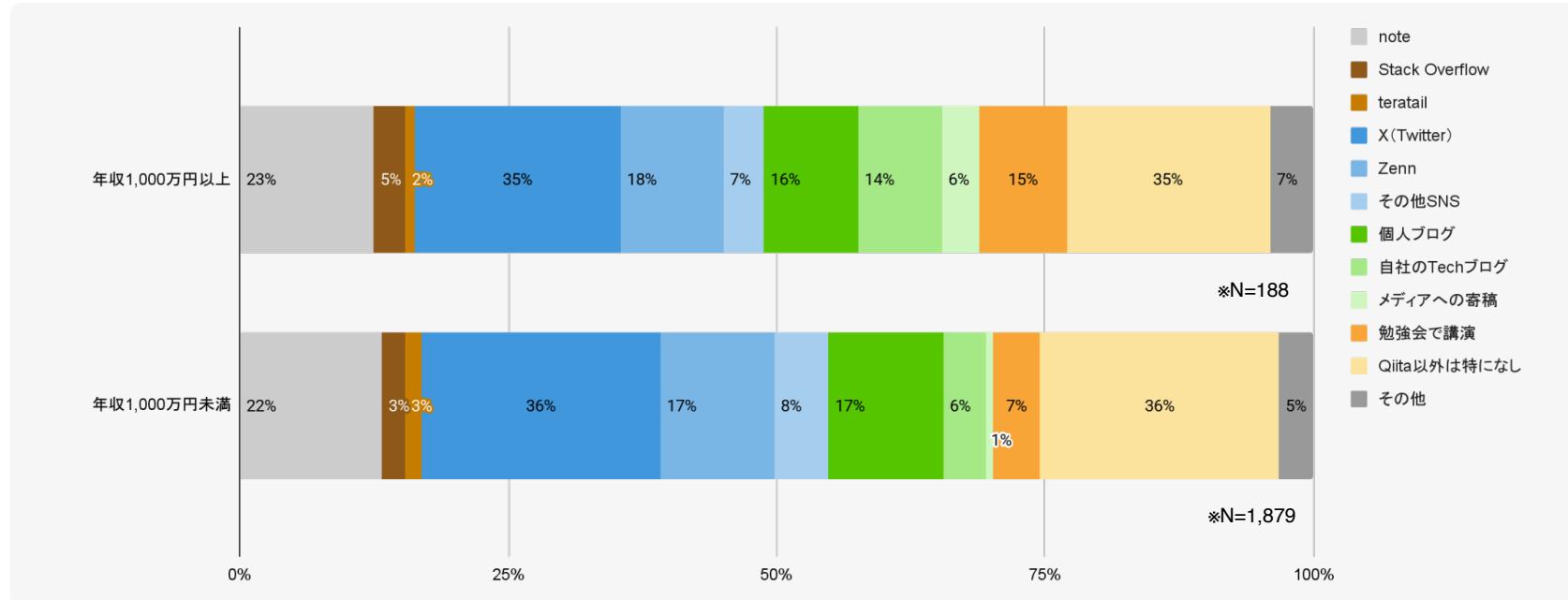


🔗 英語学習に関するQiita記事

- [【TOEIC600→875】仕事終わり1日1時間×3ヶ月で270点伸ばした“本当に効いたAI活用勉強法](#)

年収1,000万円未満と年収1,000万円以上の違い②「アウトプット」

- 公的な場でのアウトプットである「自社のTechブログ」「メディアへの寄稿」「勉強会での講演」の各項目が年収1,000万円未満と比較すると2.5倍の差がある。

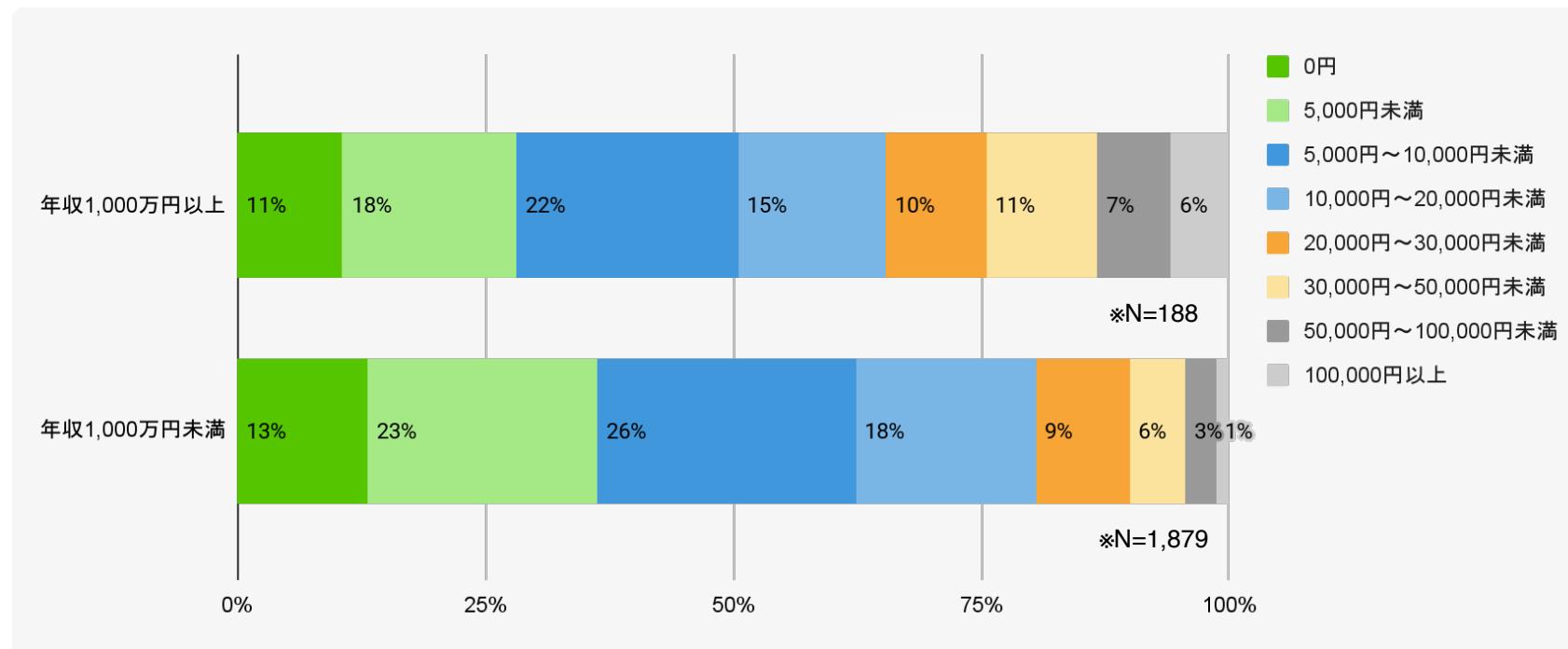


⌚ アウトプットに関するQiita記事

- [Qiita Engineer Festaを盛り上げよう！技術ブログをたくさん書くコツ共有します](#)
- [【完全解説】なぜ人はアウトプットができないのか？](#)

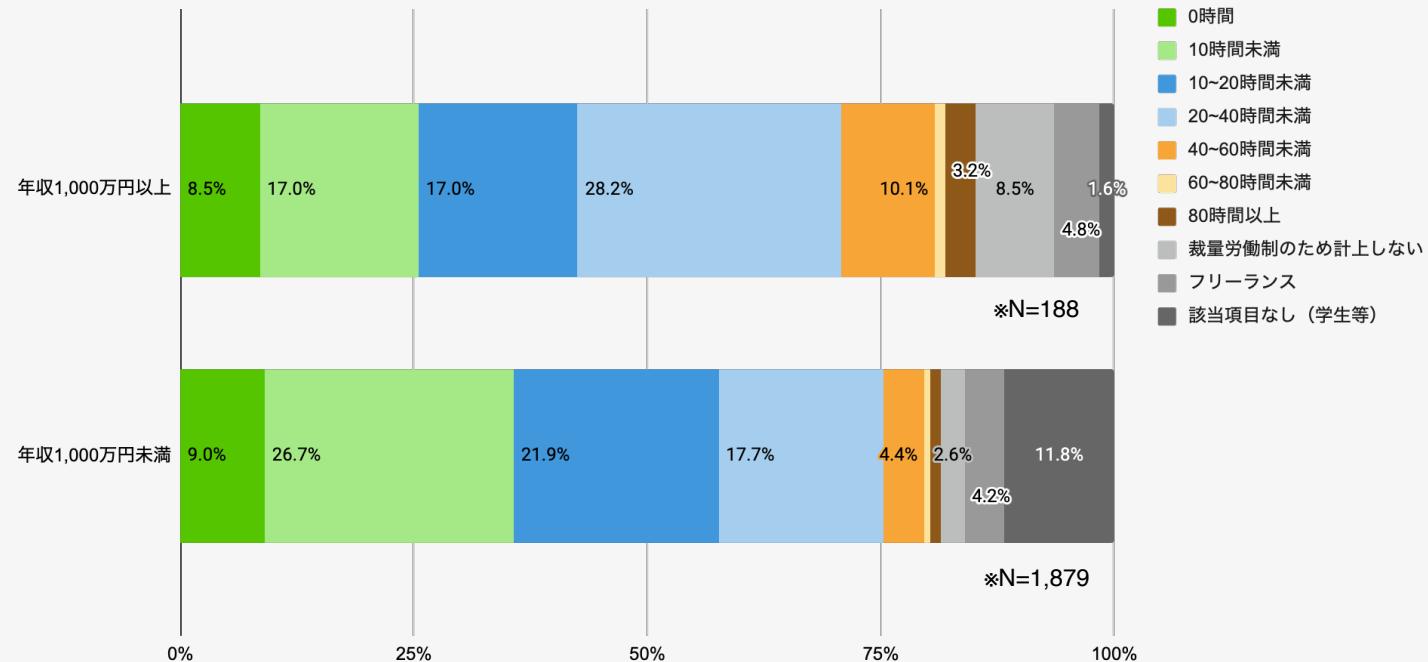
年収1,000万円未満と年収1,000万円以上の違い③「技術書への投資額（年間）」

- 年間投資額30,000円以上の割合に約2倍の差（年収1,000万円以上：24%、年収1,000万円未満：10%）
- 年収1,000万円以上と年収1,000万円未満で、いずれも50%以上の人人が10,000円未満



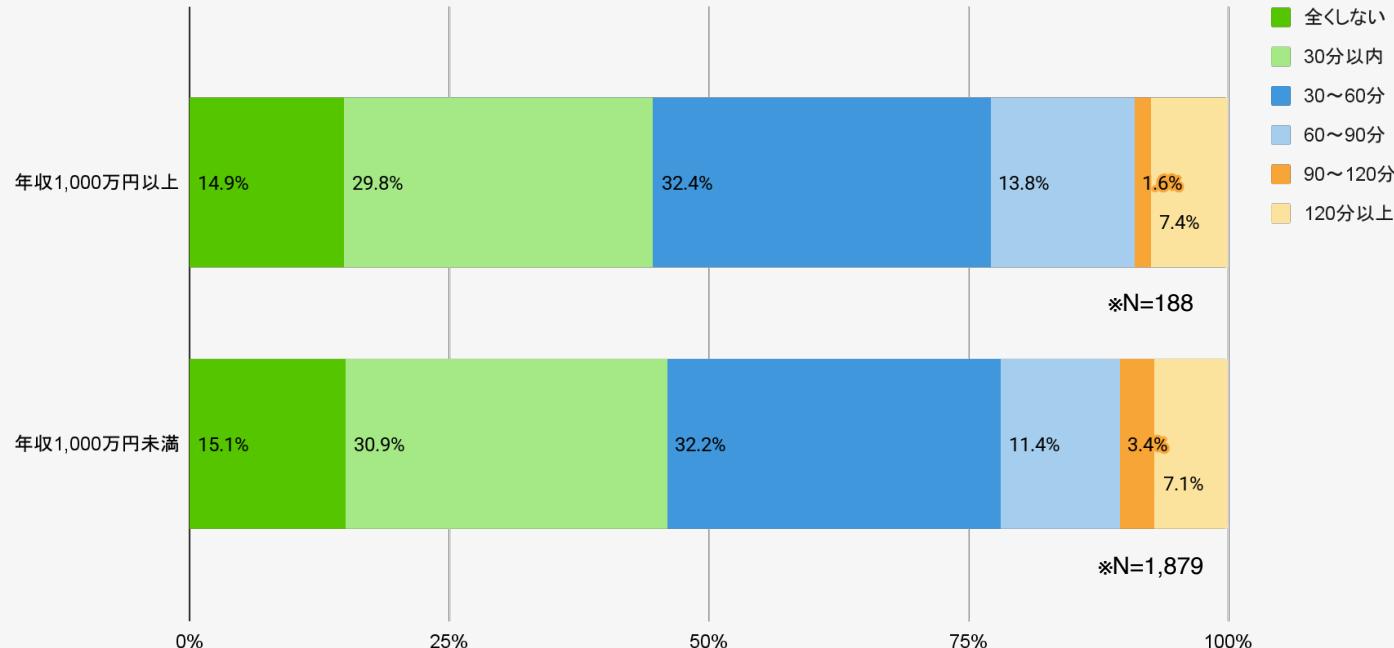
年収1,000万円未満と年収1,000万円以上の共通点① 「残業時間」

□ 残業時間：いずれの年収帯でも、約70%は残業40時間未満に収まっている

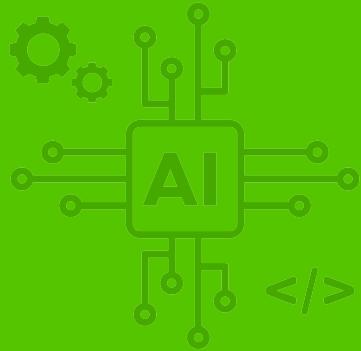


年収1,000万円未満と年収1,000万円以上の共通点②「勉強時間」

□ 休日の平均勉強時間：年収にかかわらず「全くしない」が約15%、60分以内が約62%

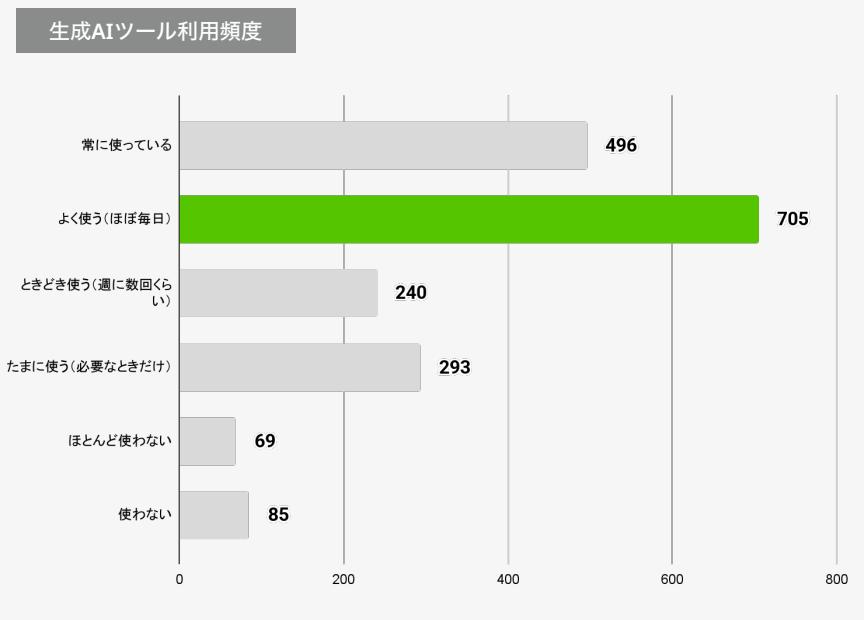


生成AIツール



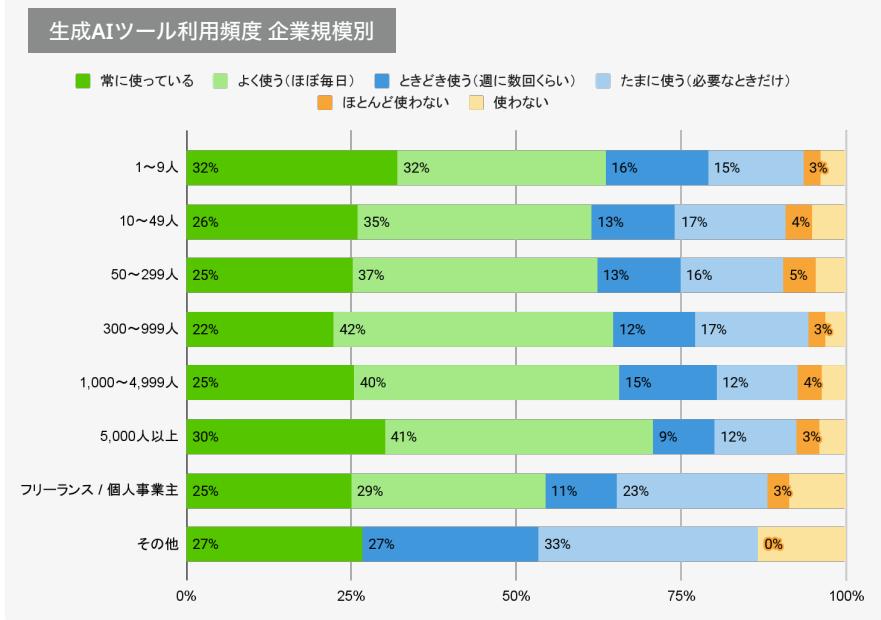
生成AIツール 利用頻度

- 「常に使っている」 「よく使う（ほぼ毎日）」 2つ合わせた割合は全体の64%



※N=1,888。学生・無職を除く。

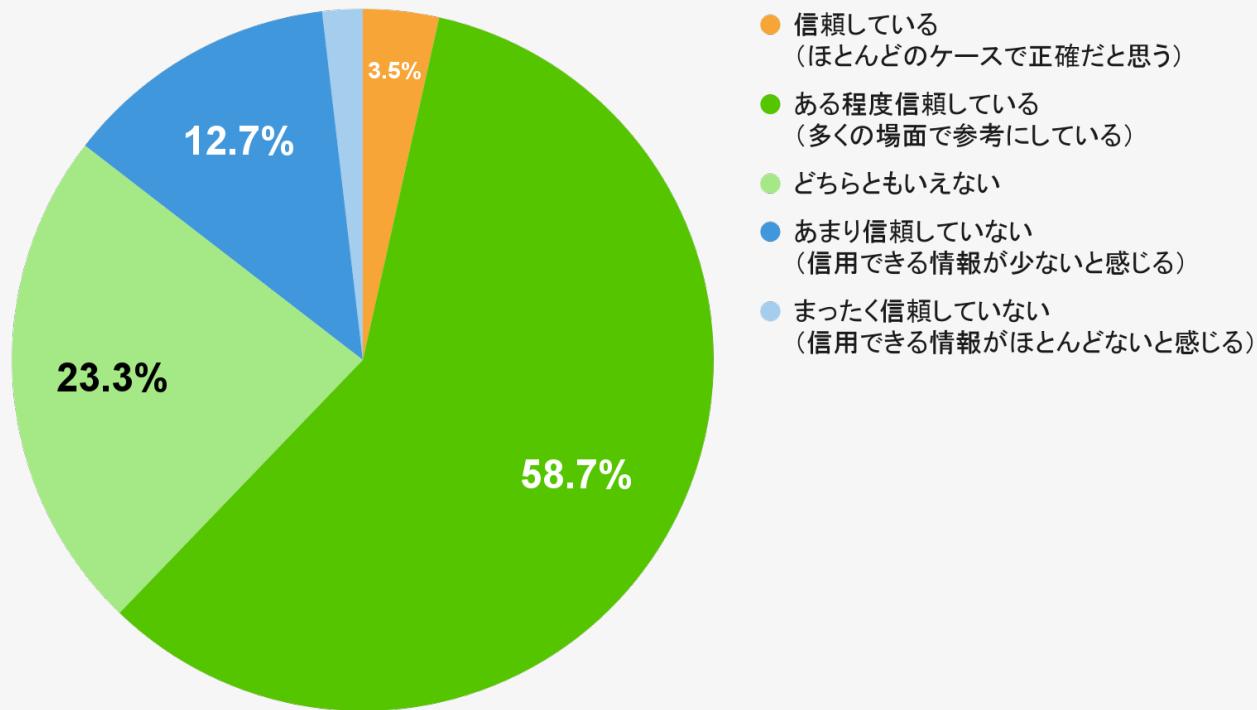
- 企業規模に関わらず、「常に使っている」 「よく使う（ほぼ毎日）」 の割合は60%を超える



※N=1,888。学生・無職を除く。

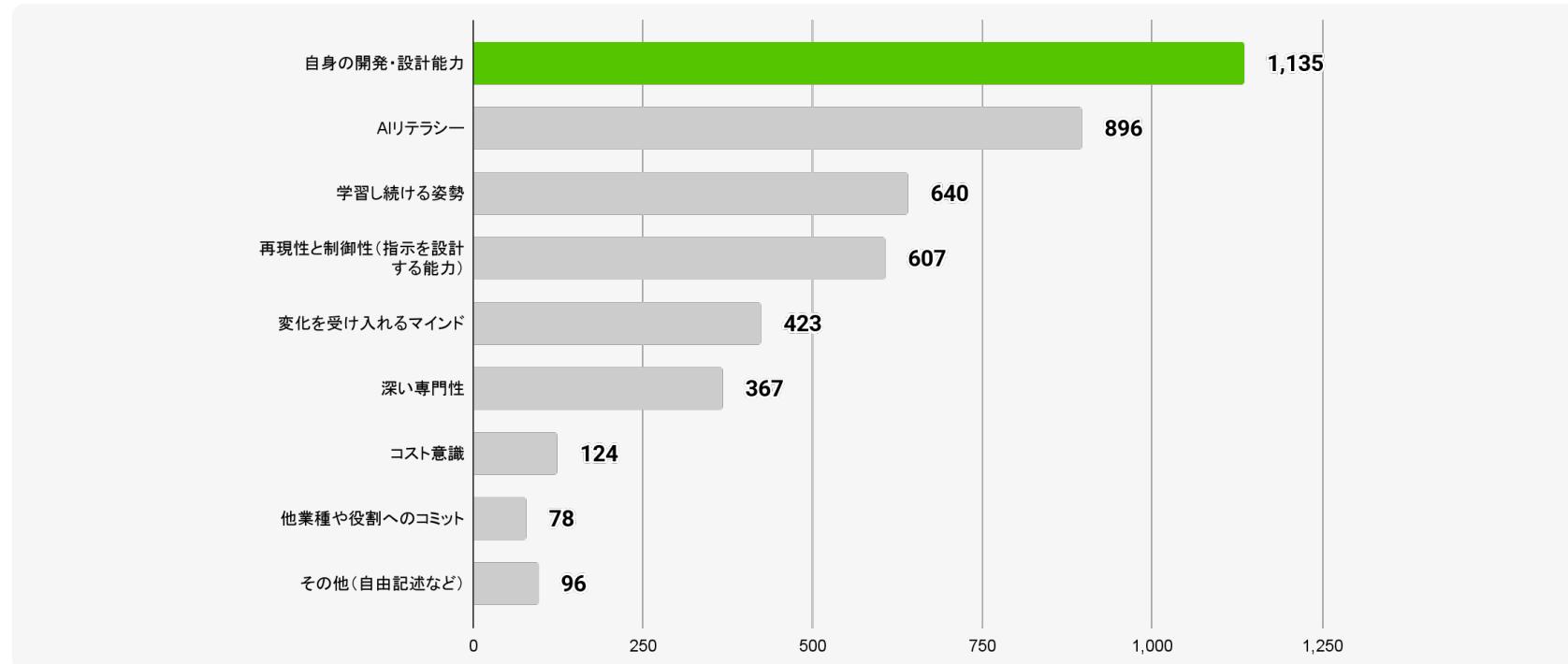
生成AIツールに対する信頼性

□ 「信頼している」 「ある程度信頼している」 2つ合わせた割合は全体の約60%



生成AIが普及したことによるエンジニアにとって必要なスキル

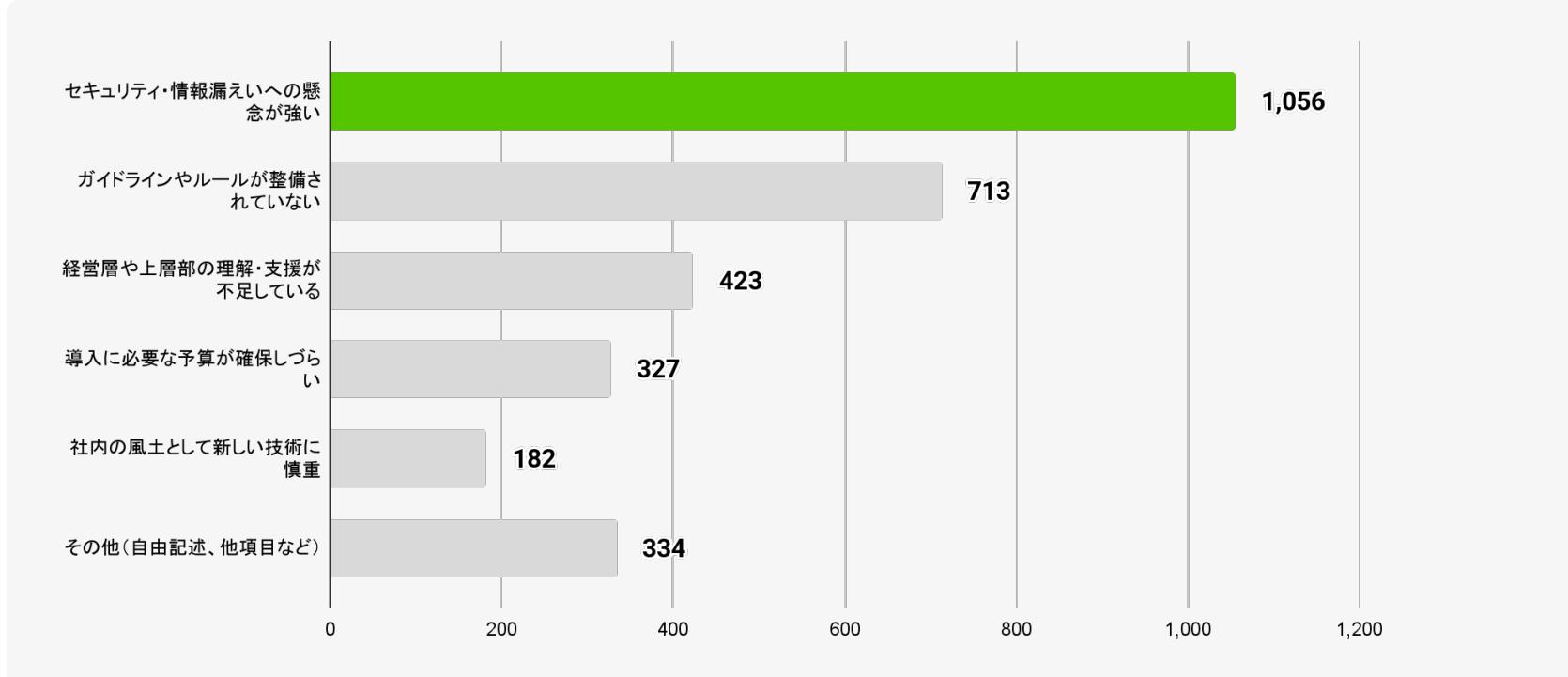
- 全体の約半数（49%）が「自身の開発・設計能力」を必要なスキルと回答
- 次いで、AIリテラシー（39%）、学習し続ける姿勢（28%）が必要と回答



※N=2,317。複数回答。

組織として生成AIツールを導入する際の課題

- 全体の半数以上（56%）が「セキュリティ・情報漏えいへの懸念が強い」と回答



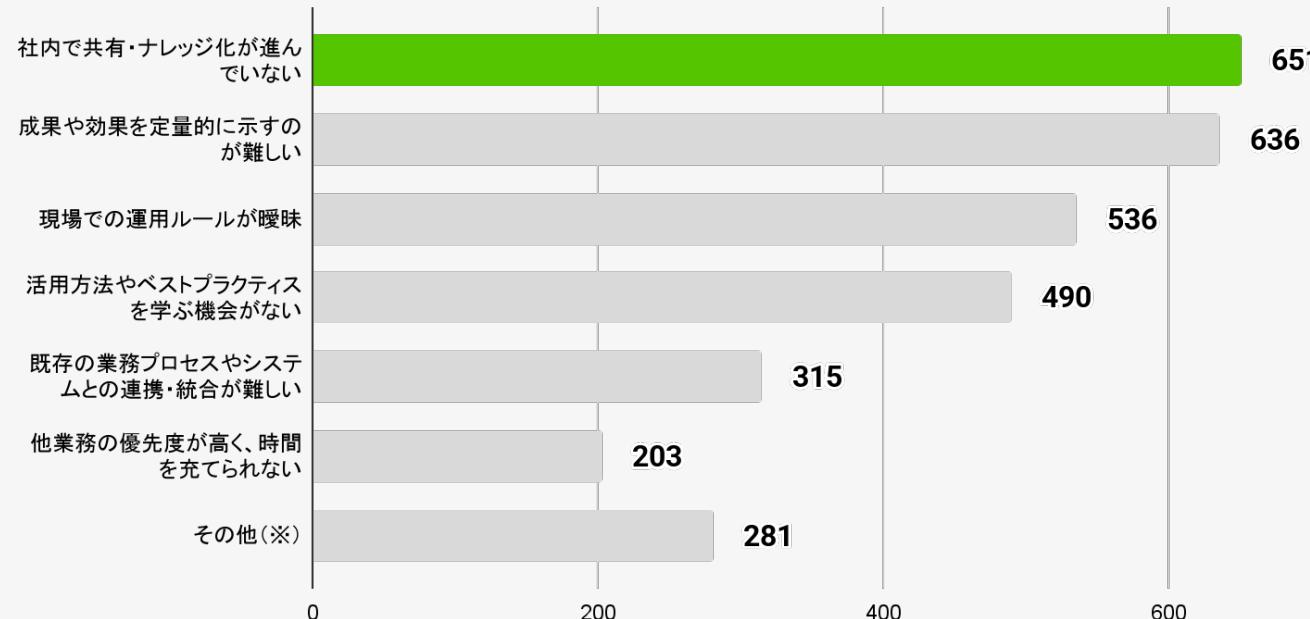
🔗 セキュリティ・情報漏えいに関するQiita記事

□ 知っておくべきプロンプトインジェクションの脅威と対策

*N=1,888。学生・無職を除く。複数回答。

組織として生成AIツールを継続・活用する際の課題

- 「社内で共有・ナレッジ化が進んでいない」「成果や効果を定量的に示すのが難しい」それぞれの割合が全体の約30%



🔗 共有・ナレッジ化に関するQiita記事

*N=1,888。学生・無職を除く。複数回答。

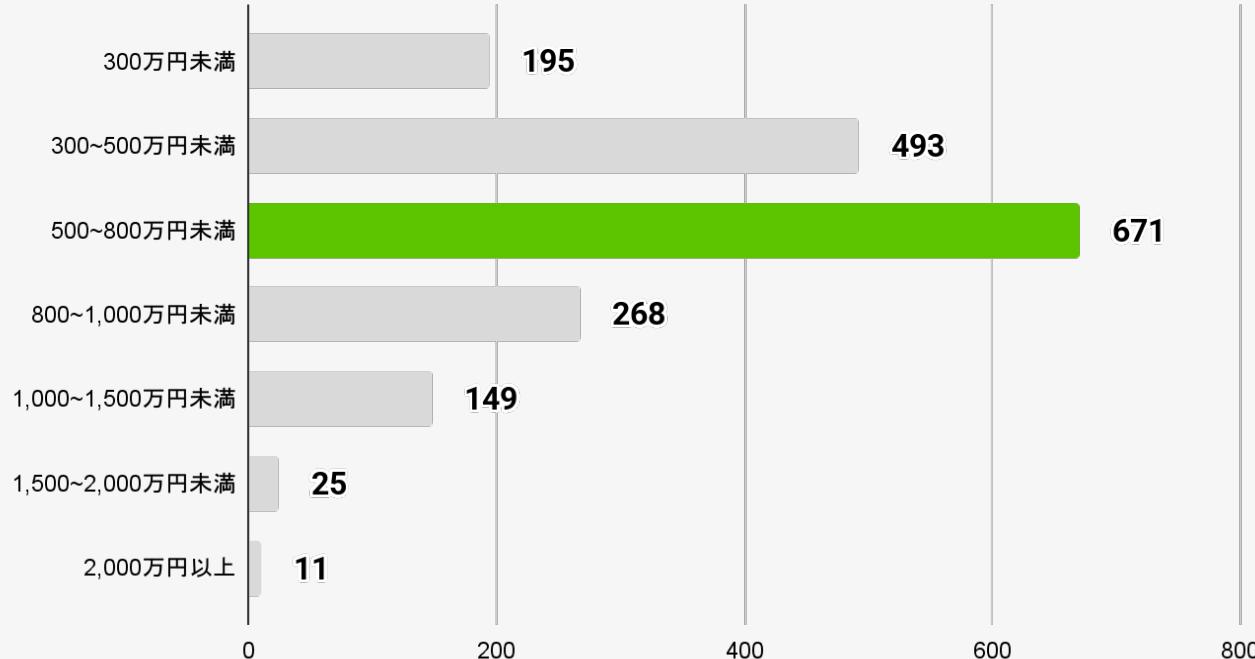
▣ 社内で生成AIチャットアプリを導入し、500万回以上利用された話

年収・転職



現在の年収

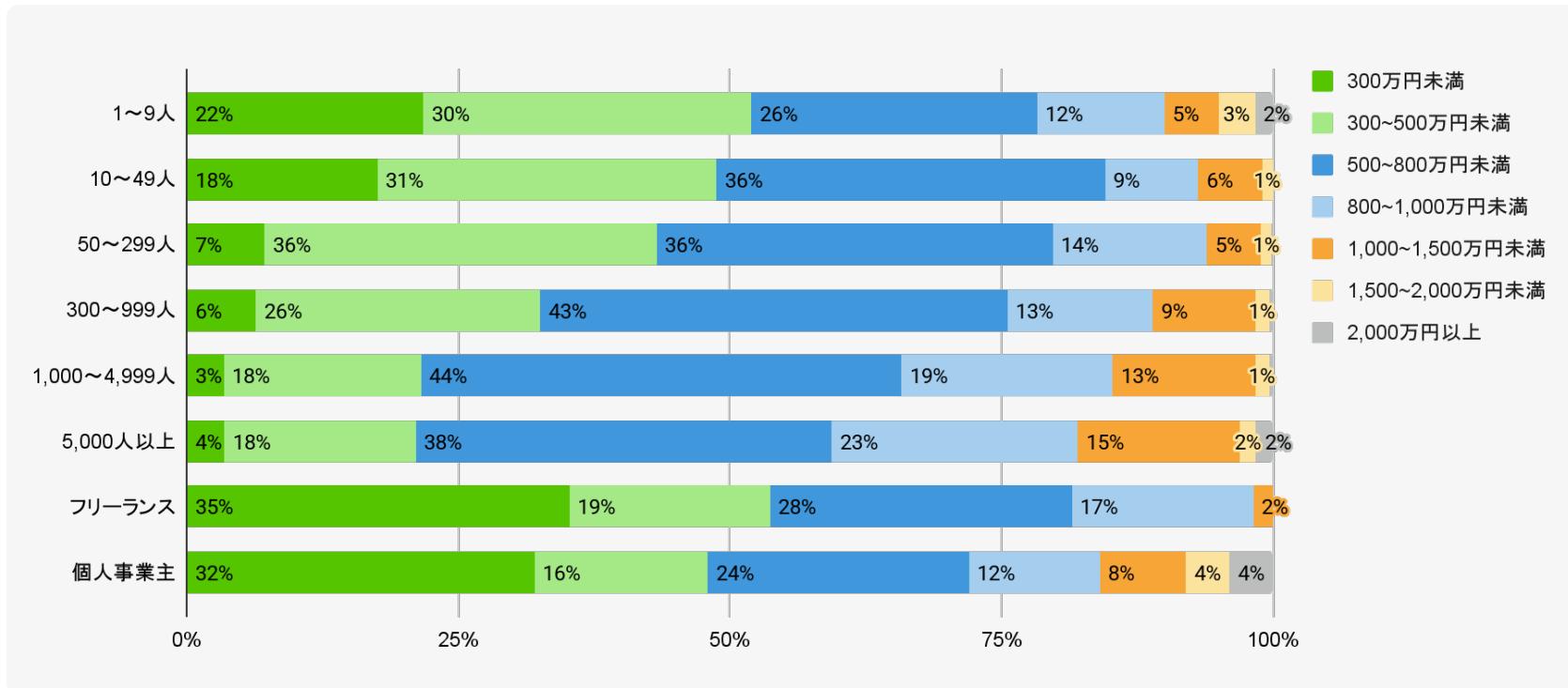
□ 500～800万円未満が最も割合が高く、全体の34%を占める。



*N=1,811。学生・無職を除く。

現在の年収（企業規模別）

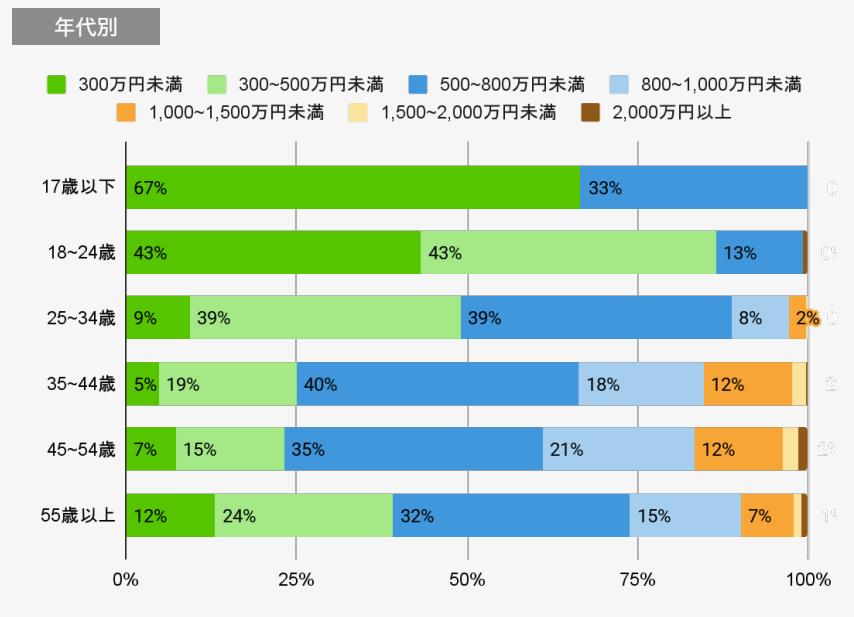
□ 10人以上の企業では、企業規模が大きくなるにつれて、800万円以上の割合が大きくなる



*N=1,798。学生・無職を除く。

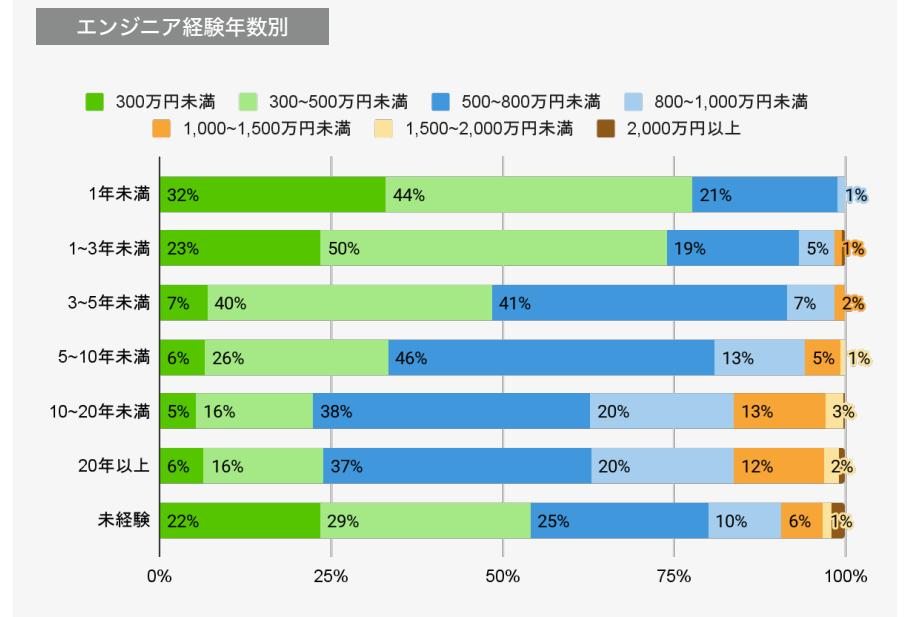
現在の年収（年代・エンジニア経験年数別）

□ 35歳以上では、500万円以上が75%を超える



*N=1,812。学生・無職を除く。

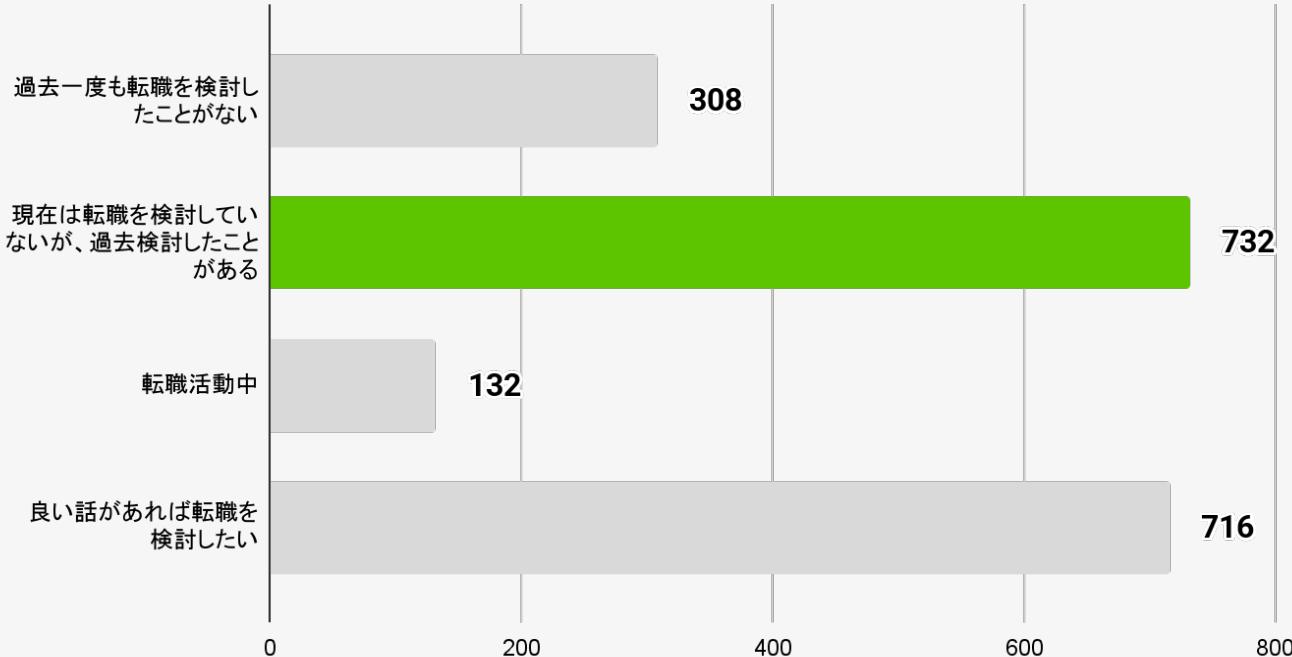
□ 経験年数が長いほど、年収も高い傾向



*N=1,812。学生・無職を除く。

転職意向

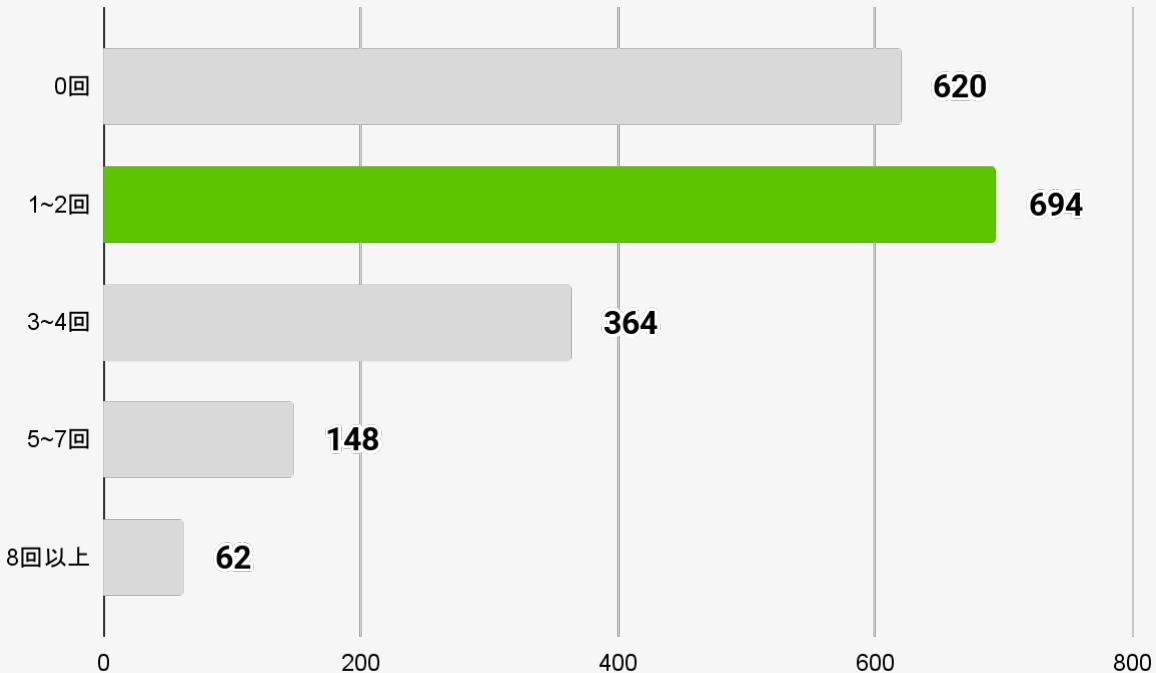
□ 過去一度も転職を検討したことがないのは、全体の16%



*N=1,888。学生・無職を除く。

転職回数

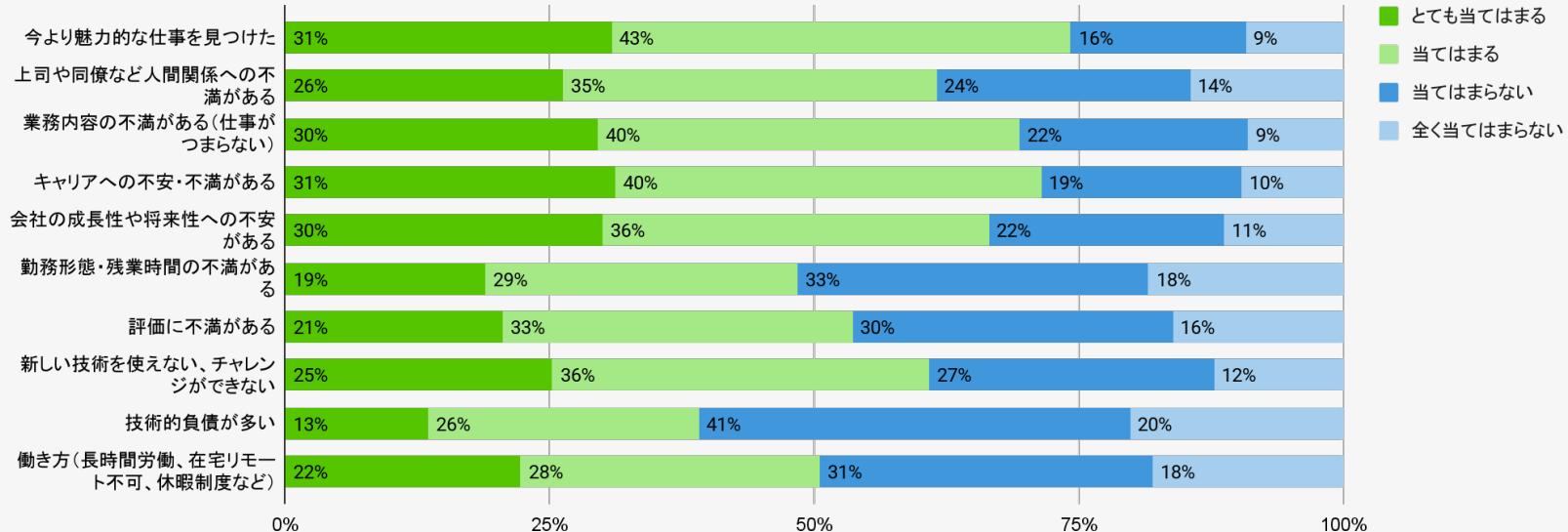
- 1～2回が最も多く694人（37%）、次で0回（33%）
- 1回以上転職を経験したことがある人は、全体の67%



*N=1,888。学生・無職を除く。

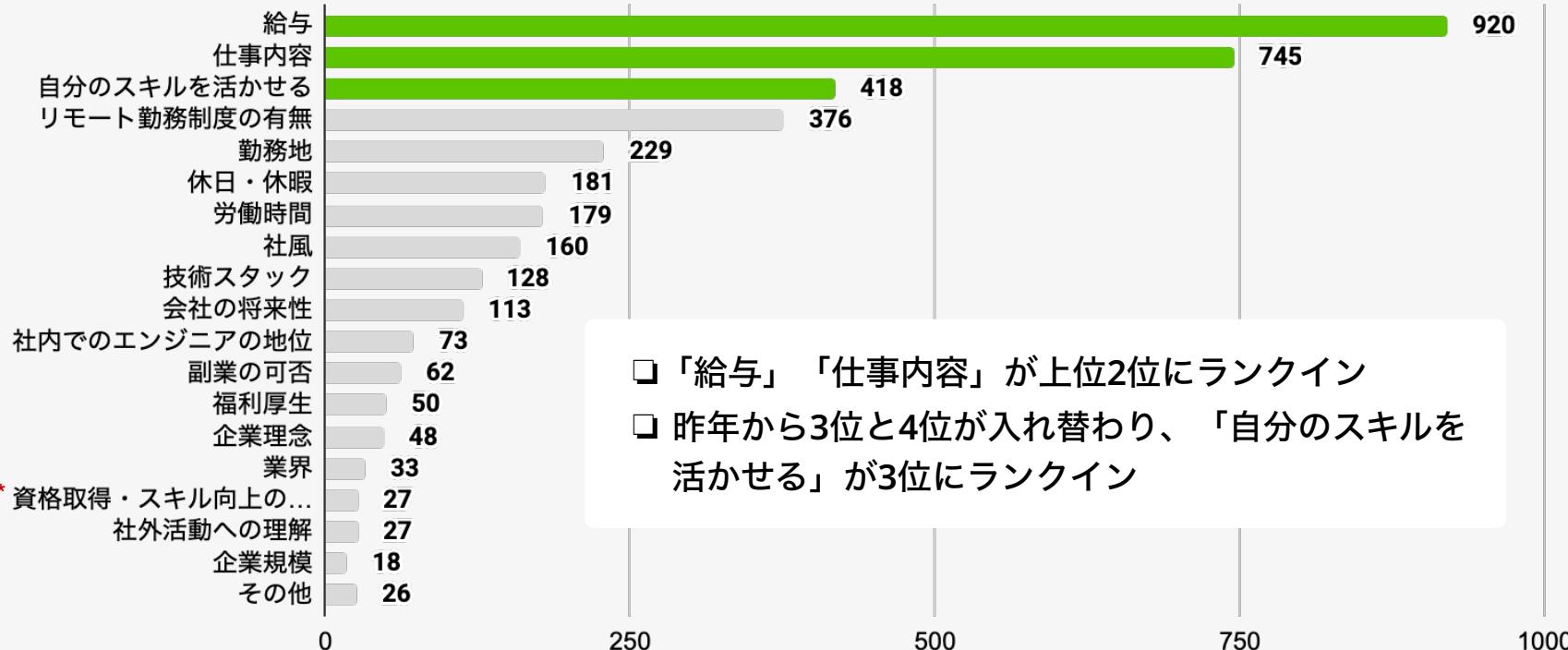
転職活動をした/しようとした時の状況

- 「当てはまる／とても当てはまる」と回答した割合が最も高いのは、「今より魅力的な仕事を見つけた」（74%）次いで「キャリアへの不安・不満がある」で、71%



*N=1,268。学生・無職を除く。「今までの転職回数を教えてください」で「0回」と回答した人を除く。

転職検討時に重要視する項目

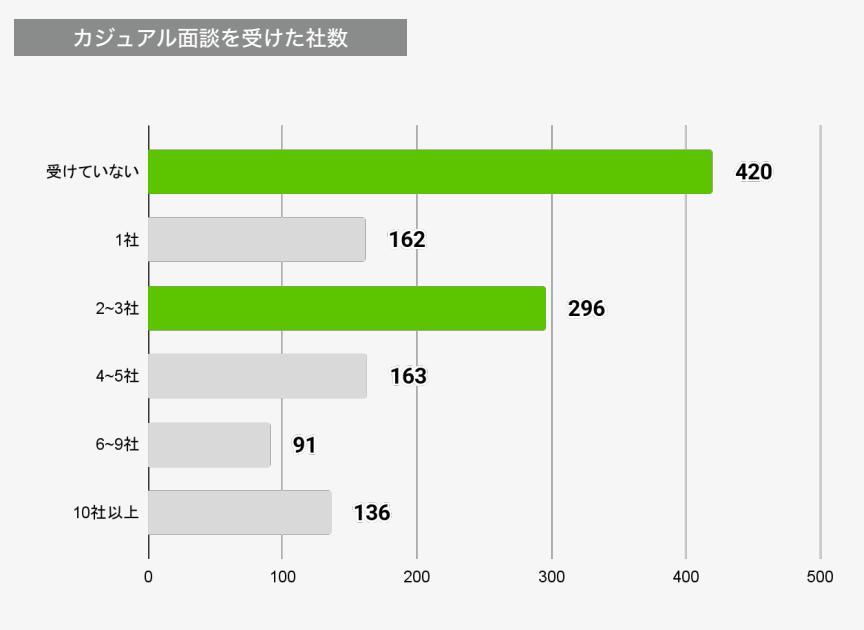


* 資格取得・スキル向上のための費用補助の有無

*N=1,268。複数回答。学生・無職を除く。「今までの転職回数を教えてください」で「0回」と回答した人を除く。

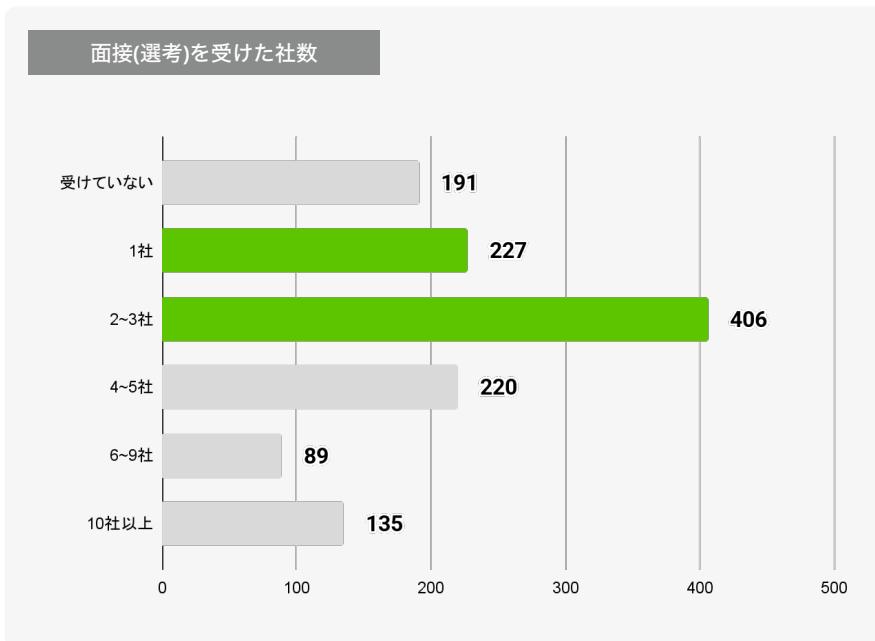
転職時にカジュアル面談／面接（選考）を受けた社数

□ カジュアル面談を受けていないと回答した割合は33%と最も多い、次いで2~3社で23%



*N=1,268。学生・無職を除く。「今までの転職回数を教えてください」で「0回」と回答した人を除く。

□ 面接（選考）を受けた社数は2~3社が最も多く32%、次いで1社で18%



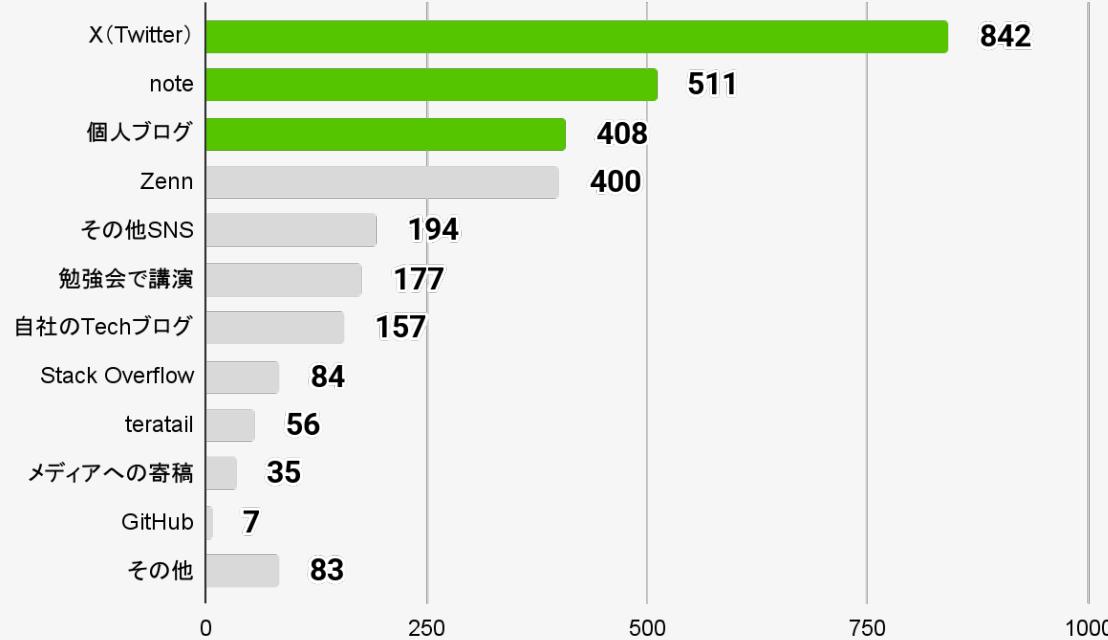
*N=1,268。学生・無職を除く。「今までの転職回数を教えてください」で「0回」と回答した人を除く。

個人・企業の情報発信



開発についてQiita以外でアウトプットを行っているサービス

- 昨年と変わらず、1位がX (Twitter) で29%
- 昨年から個人ブログとnoteの順位が入れ替わり、2位がnote (17%) 、3位が個人ブログ (14%)



※N=2,317。複数回答。

アウトプットを行っているサービスの用途

- Qiitaは技術的なアウトプット、noteや個人ブログはラフな備忘録として使い分ける傾向が強い



メインはQiitaですがメモ書きやカジュアルに書きたい時はZennにします



noteは個人開発のリリースノート、Xは問題解決、Zennは問題解決技術記事、個人ブログは技術メモなどを投稿します

noteは広めに、技術に関することはQiita、もしくはZennにします



noteはどちらかというと日記に近く、技術的な話は基本Qiitaの方に投稿しています



Qiitaは作成したツール・学んだ知識のアウトプット、noteは備忘録、Xは気になった記事の感想・拡散に使っています



QiitaとZennは投稿イベントに合うもの、noteはポエム要素が強いもの、個人ブログは技術以外の要素が強いもの、YouTubeは動画の方が映えるコンテンツを投稿しています



Qiitaは詳しい解説が必要な技術、noteはラフか、技術にフォーカスしないTipsなどを投稿します

技術ブログやSNS等で、技術に関する情報発信を積極的に行っていると思う企業

□ 1位にクラスメソッド、2位にメルカリがランクイン

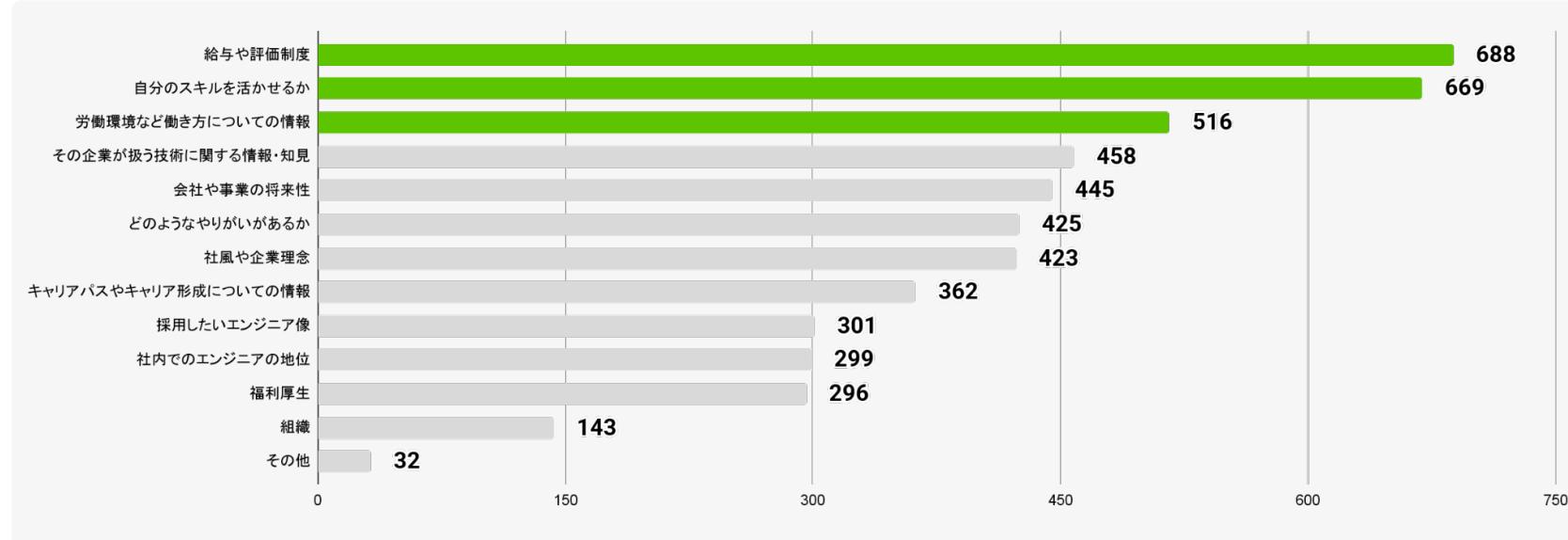
順位	企業名	順位	企業名
1	クラスメソッド株式会社	6	Microsoft
2	株式会社メルカリ	7	株式会社サイバーエージェント
3	株式会社ゆめみ	8	さくらインターネット株式会社
4	株式会社LayerX	9	LINEヤフー株式会社
5	サイボウズ株式会社	10	ファインディ株式会社

*N=530。複数回答。学生・無職を除く。



働く企業について知りたいこと

- 給与や評価制度を知りたいという回答が最も多く全体の54%
- 次いで「自分のスキルを活かせるか」が53%、「労働環境など働き方についての情報」が41%



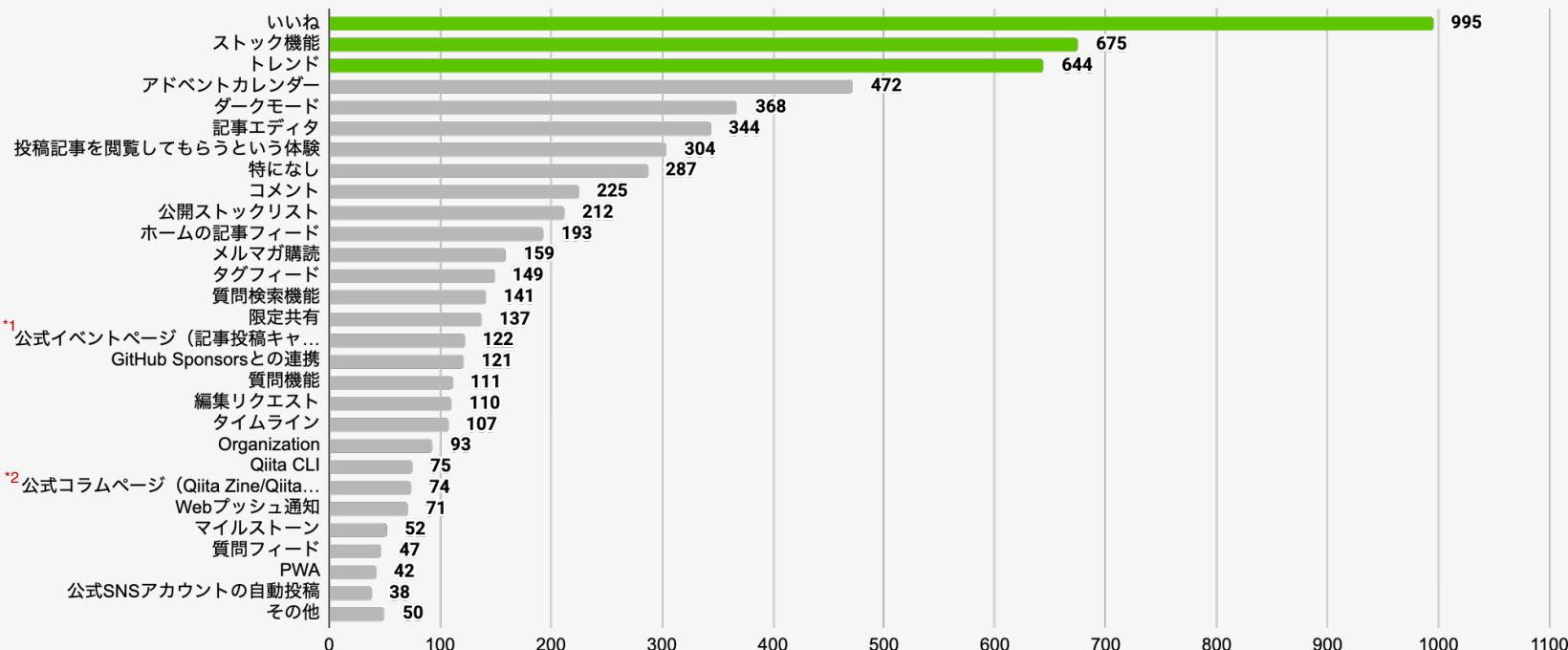
*N=1,268。複数回答。学生・無職を除く。「今までの転職回数を教えてください」で「0回」と回答した人を除く。

Qiita利用状況



Qiitaで気に入っている機能

□ いいね（43%）、ストック機能（29%）、トレンド（28%）の順に多い



*1 公式イベントページ（記事投稿キャンペーン/イベント）

*2 公式コラムページ（Qiita Zine/Qiita Blog）

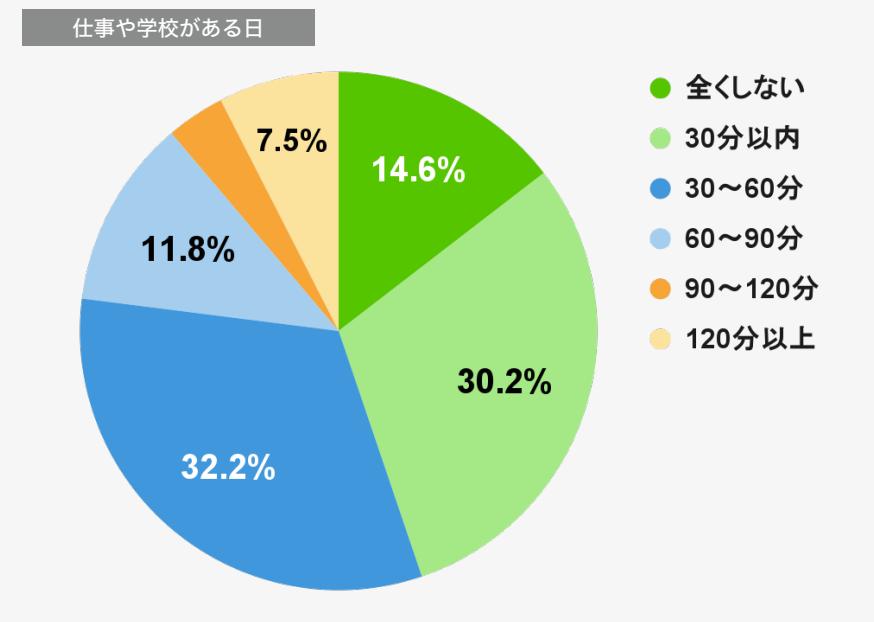
※N=2,317。複数回答。

スキルアップのための取り組み



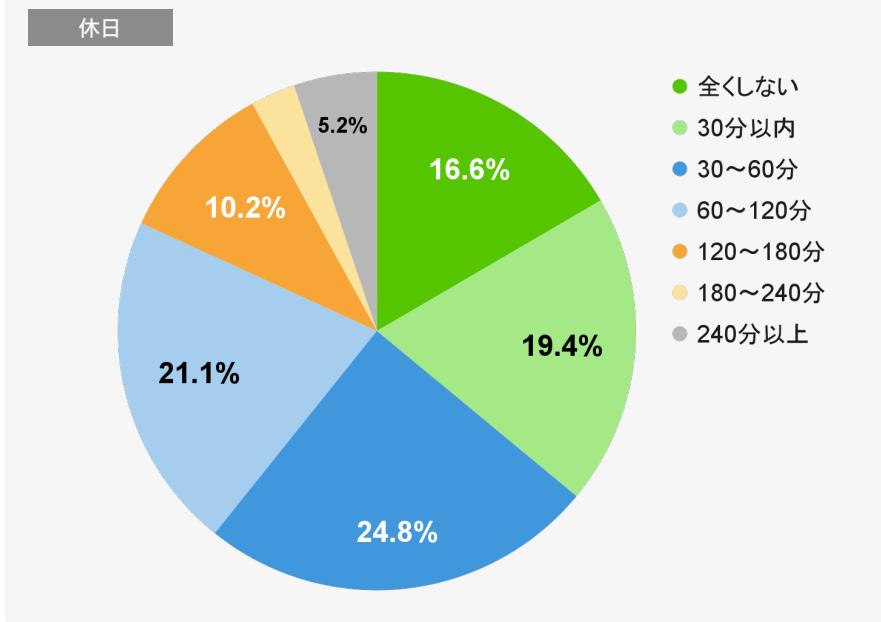
勉強時間

□ 仕事や学校がある日に30分以上勉強する割合は約55%



*N=2,217。複数回答。

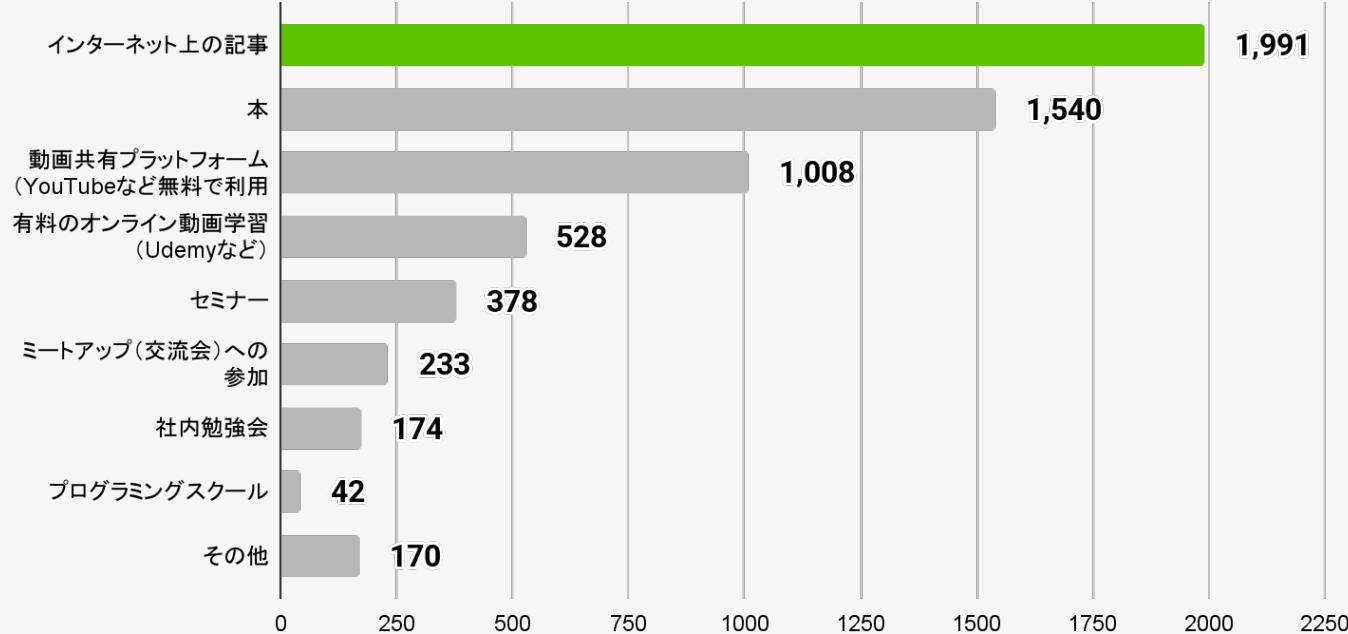
□ 休日に30分以上勉強する割合は約64%



*N=2,217。複数回答。

勉強方法

- 1位「インターネット上の記事」で86%、2位「本」で72%、3位「動画共有プラットフォーム（YouTubeなど無料で利用可能なサービス）」で44%。「その他」には、「AIで壁打ち」など、AIを活用した勉強方法の回答が見られた



*N=2,317。複数回答。

お問い合わせ

ご質問などございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

Qiita株式会社 事業開発部 プランニンググループ

<https://support.qiita.com/hc/ja/requests/new>



Qiita presents

エンジニア白書 2026

制作・編集：Qiita 丹羽真穂、跡部桃子

編集責任：Qiita 戸田行洋

表紙・デザイン監修：Qiita 加藤璃子